

事務事業実績測定調書

R5調書番号 10

事務事業名称	災害時要援護者避難支援事業											
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち										
	施策目標	1.災害に対する備えができていくまち										
	実行計画名	1-1.防災体制の充実										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2006 (H18) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	災害が発生したときに、自力で避難指定場所まで避難することが困難な高齢者、および身体障害、知的障害、精神障害がある方で、ひとり暮らしの方、同居している方も支援が必要な高齢者や障害者の方、同居している方が就労等のために避難支援が難しい方。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	災害時に自力で避難することが困難である。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	災害時の逃げ遅れ等の2次被害を防ぎ、災害時要配慮者の安全を確保する。				
事業概要	災害が発生した場合、自力で避難指定場所まで避難することが困難な高齢者や障害者等の逃げ遅れの防止を行う。 手上げ方式で要援護者の申請を受け付け。 民生委員に要援護者情報を提供し、地域の自助・共助のもと、避難支援者の設定を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		災害時の逃げ遅れ等を防ぐ体制が構築される。	災害時要援護者が登録をするともに、民生委員に要援護者情報を提供し、地域の自助・共助のもと、避難支援者の設定を行う。	手上げ方式で要援護者の申請を受け付ける。
指標設定	指標説明	災害時要援護者登録人数のうち、避難支援者が設定されている割合【算出式:避難支援者が設定されている人数/全登録者数】	避難支援者設定人数	災害時要援護者制度登録者数
		単位 %	単位 人	単位 人
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標 (見込み)	100 100 100 100	420 420 420 420	1,300 1,300 1,300 1,300
	実績	42.44 41.96 49.07 34.07	494 420 453 416	1,164 1,001 923 827
達成度		34%	99%	64%

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.38
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,493	2,734	3,000		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,493	2,734	3,000		
	物件費計	6,542	6,983	6,903	6,903	100.0%
歳出計		8,035	9,717	9,903		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		6,542	6,983	6,903	6,903	

5. 総括的分析

総括的分析	災害時要援護者避難支援事業への登録者のうち、全ての人に避難支援者が設定されている状態が理想であるが、地域の実情を踏まえると非常に困難である。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	終了
今後の取り組み方針	災害時要援護者避難支援事業における災害時要援護者情報のリストについて、これまでに枚方市独自の取り組みとして手上げ方式で要援護者の申請を受付していたが、平成25年度の災害対策基本法の改正によって作成が義務付けられた避難行動要支援者名簿との統合を行い、複数あった災害時要配慮者情報の集約を行った。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 44

事務事業名称	災害医療対策関係事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標		2.災害時に、迅速・的確に対応できるまち								
	実行計画名		2-1.災害時の応急処置活動の充実								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2011 (H23) 年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	災害対策基本法、新型インフルエンザ等対策特別措置法				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	災害及び新型インフルエンザ等の発生により被害を受ける恐れのある市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	災害及び新型インフルエンザ等が発生した場合、市民の生命・身体等に被害を被るおそれがある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	災害発生時には迅速に適切な医療救護活動を、新型インフルエンザ等発生時には蔓延防止措置や罹患時の適切な処置を行い、市民の生命や身体を保護することにより、安全安心な生活を確保する。				
事業概要	枚方市災害医療対策会議等の開催及び災害医療訓練の実施等、関係機関との相互連携を強化する。新型インフルエンザ等対策については、「枚方市新型インフルエンザ等対策行動計画」に基づき対策を講じる。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム （活動効果）				アウトプット （活動結果）				インプット （活動）				
		災害医療体制が充実する。				関係機関との相互連携を強化する。				災害医療対策に関する取り組みを行う。				
指標設定	指標説明	災害医療訓練アンケート提出者のうち、枚方市災害医療体制について理解した人の割合【算出式：枚方市災害医療体制について理解した人／アンケート提出者×100】				災害医療訓練の関係機関からの参加者数				災害医療訓練の実施回数				
	単位		%		単位		人		単位		回			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 （見込み）	80	80	80	80	30	30	30	30	1	1	1	1
		実績	0	0	0	95	0	0	0	104	0	0	0	1
達成度		119%				347%				100%				

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		災害医療体制が充実する。				新型インフルエンザ対策に対する職員の理解や情報の共有が図られる。				新型インフルエンザ対策に関する取り組みを実施する。			
指標設定②	指標説明	災害医療訓練アンケート提出者のうち、枚方市災害医療体制について理解した人の割合【算出式:枚方市災害医療体制について理解した人／アンケート提出者×100】				全体研修対象者の参加割合				全体研修の実施回数			
		単位 %				単位 %				単位 回			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	80	80	80	80	100	100	100	100	1	1	1	1
	実績	0	0	0	95	0	0	0	100	0	0	0	1
達成度		119%				100%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.55
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,478	6,093	4,342		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	4,478	6,093	4,342		
物件費計		5,595	2,577	5,265	7,024	75.0%
歳出計		10,073	8,670	9,607		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	5,167	1,678	4,742	5,522	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	5,167	1,678	4,742	5,522	
一般財源（物件費に充当されるもの）		428	899	523	1,502	

5. 総括的分析

総括的分析	吉田病院と連携訓練を実施した。関係機関から多数の参加があり、アンケート提出者の95%が災害医療体制への理解を深めることができた。また、災害医療対策会議を開催し、令和5年度の各病院の訓練状況や枚方市災害時医療救護活動マニュアル及び枚方市拠点応急救護所設置・運営マニュアルについて共有し、令和6年度に実施予定の訓練について報告した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	災害時における医療救護体制の強化を図るため、継続して災害医療対策会議により災害医療等を検討するとともに、拠点応急救護所設営訓練等を行っていく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 103

事務事業名称	総合福祉センター維持管理事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	健康福祉部		課	健康福祉政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標	5.快適で暮らしやすい環境を備えたまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1976(S51)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市総合福祉センター条例及び同施行規則				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	総合福祉センター利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	総合福祉センターの利用者が、安全・快適に利用できるよう必要な施設保全や保守点検等を実施する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	総合福祉センター利用者が、施設を安心して安全快適に利用することができ、心身の健康と福祉の増進を図っている。				
事業概要	名 称 :枚方市総合福祉センター 所在地:枚方市津田東町2丁目26番1号(老人福祉センター) 、枚方市中宮山戸町12番15号(老人作業所) 開設年月:昭和51年4月24日(老人作業所は昭和53年4月1日) 送迎バス:枚方市駅等からセンターまで無料運行。決められた停留所で乗車可能。				
	施設内容 老人福祉センター:大広間、和室(3室)、会議室(5室)、浴室、足湯、調理室、対局室、機能回復訓練室、講座室、ビリヤード室、茶室、バンパー場、体育室、グラウンド 老人作業所(1室) 事業内容 高齢者の生きがいと健康増進及び市民各層との交流を図るため以下の事業を実施している。 1. 部屋、体育室の貸し出し、2. グラウンドゴルフ講習会・料理教室など世代間交流事業、3. 老人趣味の講座・老人いきいき講座 4. 機関誌の発行、5. 健康・生活相談、6. 風呂、7. 送迎バス運行等				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						総合福祉センターが適正に維持管理されている。				必要な保守点検等を実施する。				
指標設定	指標説明					修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式:決算額/当初予算額×100】				保守点検や修繕、補修工事の件数。				
					単位	%	単位	件						
	指標種類						減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)					100以内	100以内	100以内	100以内	34	34	34	34
実績						4.74	0	0	157	31	35	40	42	
達成度										76%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.40
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,143	2,500	3,158		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,143	2,500	3,158		
歳入	物件費計	92,099	92,201	93,573	93,759	99.8%
	歳出計	95,242	94,701	96,731		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	3,289	3,777	3,738	3,804	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	281	0	0	
歳入	歳入計（物件費に充当される特定財源）	3,289	4,058	3,738	3,804	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	一般財源（物件費に充当されるもの）	88,810	88,143	89,835	89,955	

5. 総括的分析

総括的分析	30万円を超える修繕が必要となるような事項が令和5年度はエアコン故障が2台発生したため、修繕費が多くなった。30万円以内の修繕については、指定管理者が行っているが(令和2年度から指定管理料のうち年間120万円を修繕費とし、使わなかった分については精算し返してもらうことになっている)修繕の数が多くなっている。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、指定管理者による運営が適切に行われるよう、施設管理運営状況の確認を行うとともに、利用者が安全に施設を利用できるよう、必要な施設保全や保守点検等を実施していく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 104

事務事業名称	総合福祉会館維持管理事業									
測定年度	2023 (R5) 年度		部	健康福祉部		課	健康福祉政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標	5.快適で暮らしやすい環境を備えたまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1998 (H10) 年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市立総合福祉会館条例及び同施行規則				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	福祉活動を行う市民・団体など、総合福祉会館の利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	福祉活動や市民交流の輪を広げる場が必要			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	高齢者・障害者などの福祉サービスが充実する。また、活動の場を提供することにより、福祉活動が促進される。				
事業概要	有料貸室の貸出・福祉情報制作室(点訳やビデオの字幕入力)・温水プールの運営など。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
						総合福祉会館が適正に維持管理されている。				必要な保守点検等が行われる。					
指標設定	指標説明					修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式: 決算額/当初予算額×100】				保守点検回数					
			単位	%			単位	回							
	指標種類														
	指標数値							R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)						100以内	100以内	100以内	100以内	97	97	97	97
		実績						96.56	51.16	79.90	66.85	94	97	97	103
達成度															

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.57
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,264	5,859	4,500		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	5,264	5,859	4,500		
歳入	物件費計	199,536	230,536	246,104	264,993	92.9%
	歳出計	204,800	236,395	250,604		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	10,376	13,306	5,327	14,362	
	市債	0	41,500	35,300	51,100	
	その他	0	0	0	0	
歳入	歳入計（物件費に充当される特定財源）	10,376	54,806	40,627	65,462	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	189,160	175,730	205,477	199,531	

5. 総括的分析

総括的分析	指定管理者制度により、会館の維持管理業務、貸室業務、温水プールの運営、各種福祉講座を実施した。令和5年度は、空調設備の故障のため、一部の期間、貸室使用や温水プールの使用を中止した。また、プール設備の改修工事のため、12月1日～1月19日は臨時休業とした。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き適正な会館管理を行い、福祉活動の場を提供していく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 122

事務事業名称	健康医療都市ひらかた推進事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち									
	実行計画名	6-2.健康づくりの推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性	選択の事業	区分	一般事務事業	
事業期間	2012(H24)年度			年度	～	年度まで	
根拠法令等	決裁						
関係補助金名称					サンセット		～
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	事業に参加する市民					
	サブターゲット	健康医療都市ひらかたコンソーシアムを構成する市内の医療機関や医療系大学、関係団体					
	ターゲットが抱える課題	自ら健康増進を図る知識や機会を得る効果的なすべが少ない。					
	ターゲットが抱える課題	各団体がそれぞれの事業効果を高める必要がある。					
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	健康・医療に関わる各関係機関が密接に連携し、顔の見える関係性を構築することで、様々な連携事業による市民の健康増進や医療体制の強化につなげる。						
事業概要	平成24年8月に設立した「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」に参画する構成団体 14団体と連携団体 2団体を中心に、社会資源の共同利用や情報の共有、人材の交流、健康医療に関する情報発信等を行う。コンソーシアムにおける連携事業としては、以下の事業を想定している。 ・災害医療対策のための連携事業 ・地域完結型医療実現のための連携事業 ・こころの健康増進のための連携事業 ・健康づくり・介護予防事業推進のための連携事業 ・母と子どもの健康支援のための連携事業 ・健康・医療アカデミー創設による連携事業 ・健康・医療関連の地域振興・まちづくりのための連携事業 ・健康・医療に関する情報発信のための連携事業 【構成団体】14団体 枚方市、枚方市保健所、枚方市医師会、枚方市歯科医師会、枚方市薬剤師会、関西医科大学、大阪歯科大学、摂南大学、関西医科大学附属病院、星ヶ丘医療センター、枚方公済病院、大阪精神医療センター、市立ひらかた病院、枚方市病院協会 【連携団体】2団体 枚方市スポーツ協会、枚方寝屋川消防組合						

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム （活動効果）				アウトプット （活動結果）				インプット （活動）				
		市民の健康増進が図られる。				連携事業に市民等が参加する。				「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」連携事業を実施する。				
指標設定	指標説明	事務局主催事業における参加者アンケートで、「健康に関する意識が高まった」と回答した人の割合 【算出式:健康に関する意識が高まったと回答した人／アンケート数×100】				連携事業への市民等の参加者数				連携事業としての講演会・研修等の実施回数				
	単位		%		単位		人		単位		回			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 （見込み）	80	80	80	80	12,000	12,000	12,000	12,000	30	30	30	30
		実績	0	0	96.71	86	563	1,012	5,142	11,601	6	14	21	29
達成度		108%				97%				97%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.43
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,221	3,828	3,395		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,221	3,828	3,395		
	物件費計	50	50	50	690	7.2%
歳出計		3,271	3,878	3,445		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		50	50	50	690	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響も落ち着き、多くの市民が参加する講演会・研修等が実施でき、指標数値へ近づくことができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」に参画する14団体を中心に、社会資源の共同利用や情報共有、人材の交流、健康医療に関する情報発信等を行うとともに、コンソーシアム参画団体の代表者が参加する代表者会議及び事務責任者が参加する事務レベル会議を開催する。また、構成団体が実施している各連携事業について、課題や取り組み状況を事務局として確認し、対応していく。

事務事業実績測定調査

R5調書番号 160

事務事業名称	枚方市立総合福祉会館 福祉相談・福祉情報提供等事業												
測定年度	2023 (R5) 年度				部	健康福祉部				課	健康福祉政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5			
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち										
	施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2021(R3)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市立総合福祉会館条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	地域における高齢者、障害者、低所得者など援護を要するあらゆる者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	悩みを聞いてほしい。どこに相談してよいかわからない			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	福祉会館として福祉に関する相談並びに情報の収集及び提供を行い、傾聴・助言、専門相談機関の案内等を行うことで、市民が安心して生活を送ることができる。				
事業概要	枚方市立総合福祉会館の会館事業として指定管理業務であったものを、令和3年度から市が事業委託として実施するもの。 <委託期間>令和3年(2021年)4月1日から令和6年(2024年)3月31日まで(3年間)				
	(1)福祉相談業務 ①業務内容:枚方市立総合福祉会館に来館あるいは電話等で市民等から相談が入った際に、高齢者や障害者、子ども、低所得者等の幅広い相談を行い、助言等を行う。 ②相談対応時間:枚方市立総合福祉会館の開館日 9時～17時30分 ③1日における配置人数:常時1名以上 ④相談場所:枚方市立総合福祉会館 1階 相談室2 ⑤従事者資格要件:社会福祉士、介護福祉士もしくは福祉相談実務経験を2年以上有する者 (2)福祉情報提供等業務 ①業務内容:枚方市立総合福祉会館4階福祉図書コーナーに来館された市民等に福祉に関する図書、ビデオ視聴の貸し出し等の受付業務の他、福祉図書の蔵書管理、福祉に関する情報の提供や検索を支援する。また、スタッフは障害者当事者としてピアカウンセリングを実施するとともに、必要に応じて、(1)福祉相談業務へ繋ぐこととする。 ②相談対応時間:枚方市立総合福祉会館の開館日 9時～17時30分 ③1日における配置人数:常時3名以上(内訳:障害者2名以上、事務補助員1名以上) ④相談場所:枚方市立総合福祉会館 4階 福祉図書コーナー ⑤従事者資格要件 i)身体障害者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳のいずれかの交付を受けている者で、相談者の相談に対応できる者。 ii)事務補助員:i)のスタッフを補助し、また、福祉に関する情報の提供や検索を支援し、高齢者や障害者等に配慮した対応ができる者(福祉関連の資格がない場合も可)。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		対象者の福祉相談窓口となり、問題解決に取り組むことで、安心して生活を送ることができる。				対象者が福祉に関する相談をする。				総合福祉会館に福祉相談窓口を設置する			
指標設定	指標説明	福祉相談件数のうち傾聴や関係機関の案内など適切に対応した件数の割合 【算出式:適切に対応した件数／福祉相談件数×100】				延べ相談件数				総合福祉会館開館日に福祉相談を行う			
		単位				単位				単位			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	-	100	100	100	-	40	40	40	-	347	347	347
	実績	-	100	100	100	-	11	20	18	-	291	347	347
達成度		100%				45%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.09
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	864	859	711		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	864	859	711		
	物件費計	16,867	16,867	16,867	16,867	100.0%
歳出計		17,731	17,726	17,578		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		16,867	16,867	16,867	16,867	

5. 総括的分析

総括的分析	全日開室し相談に対しては適切に対応できた。
-------	-----------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	福祉相談事業について市民に知ってもらうための広報等の取り組みを強化していく。

事務事業実績測定調査

R5調書番号 175

事務事業名称	健康・医療・福祉フェスティバル開催事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標		8.安心して適切な医療が受けられるまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1989(S64)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	事業に参加する市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	健康、医療、福祉について関心が低い(考える機会が少ない)市民が一定数いる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	より多くの市民が参加することで、健康、医療、福祉に対する意識が高揚し、自ら健康づくりを実践する気運が高まる。				
事業概要	・医師会、歯科医師会、薬剤師会、社会福祉協議会、枚方市の共催で「枚方市健康・医療・福祉フェスティバル」を開催する。 ・フェスティバル開催に向け、5団体より選出された委員による実行委員会を開催し、準備を進める。 ・フェスティバルでは各団体が健康・医療・福祉をテーマに様々な催しを実施する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		市民の健康・医療・福祉に対する意識が高まる。	「健康・医療・福祉フェスティバル」を開催する。	「健康・医療・福祉フェスティバル」実行委員会を開催する。
指標設定	指標説明	健康・医療・福祉フェスティバル参加者アンケートで、「意識が高まった」と回答した人の割合	参加者数(延べ人数)	実行委員会の実施回数
		単位 %	単位 人	単位 回
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標 (見込み)	80 80 80 80	7,000 7,000 7,000 7,000	4 4 4 4
	実績	0 0 0 93	0 0 0 6,684	0 0 3 3
達成度		116%	95%	75%

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.60
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.13
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	864	3,984	4,737		
	会計年度任用職員	0	0	272		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	864	3,984	5,009		
	物件費計	42	177	2,300	2,300	100.0%
歳出計		906	4,161	7,309		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		42	177	2,300	2,300	

5. 総括的分析

総括的分析	4年ぶりの開催にあたり、多くの方に来場いただき、「健康に関する意識が高まった」回答率が高かった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、健康に関する意識を高められるようイベント内容を充実し、SNS等を活用して周知を行う。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 176

事務事業名称	ひらかた安心カプセル配付事業											
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち										
	施策目標	8.安心して適切な医療が受けられるまち										
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2010(H22)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	安心カプセルの配付を希望する市民(65歳以上の方、障害者手帳を有する方、妊婦、一人暮らしの方、家族で住んでいるが日中は一人になる方)			
	サブターゲット	地域の民生委員・児童委員(見守り活動を通じて安心カプセルを配付していることから、地域に見守りが必要な人を把握できることや、対象者とのつながり強化に資するため)			
	ターゲットが抱える課題	安心カプセルの配付を希望する市民について、緊急搬送時に救急隊員が駆け付けた際に、自身の病気や緊急連絡先を明確に伝えることができない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	緊急搬送時の対応に不安を持つすべての市民が、安心カプセルを所有する。				
事業概要	高齢者や障害者、一人住まいの市民等からの申請に応じて、ひらかた安心カプセル(救急医療情報キット)を配付する。なお、配付については、民生委員、枚方寝屋川CKD研究会に参加する市内の人工透析を行う病院・診療所及び枚方市医師会の協力医療機関を通じて行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		緊急搬送時の対応に不安を持つすべての市民が、安心カプセルを所有する。				安心カプセルの配付を希望する市民に安心カプセルを配付する。				高齢者や障害者、一人住まいの市民等から申請を受け付ける。			
指標設定	指標説明	安心カプセルの配付数(累計)				安心カプセルの配付数(当該年度)				配付窓口数(民生委員の委嘱者数及び配付協力医療機関数)			
		単位 個				単位 個				単位 箇所			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	9,505	10,065	10,625	11,185	560	560	560	560	586	586	586	586
	実績	9,838	9,935	10,481	10,816	227	97	546	335	587	588	557	565
達成度		97%				60%				96%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.04
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	393	625	316		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	399	625	316		
	物件費計	294	399	0	0	
歳出計		687	1,024	316		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	294	399	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	294	399	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	民生委員による見守り活動の中で、希望者に対して順次配布するとともに、市内の協力医療機関を通じて希望者に配布している。令和5年度は、インプットについては微増したが、アウトカム及びアウトプットについては減少した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、ひらかた安心カプセルの啓発・推進を図る。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 181

事務事業名称	公共施設・コンビニへのAED設置事業												
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5			
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち										
	施策目標		8.安心して適切な医療が受けられるまち										
	実行計画名		8-1.医療体制の充実										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性	選択的事業	区分	一般事務事業	
事業期間	2015(H27)年度			年度	～	年度まで	
根拠法令等	決裁、協定書						
関係補助金名称					サンセット		～
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	突然の心停止に伴い、心肺蘇生(AEDの使用)を必要とする全ての市民					
	サブターゲット	市内公共施設及び24時間営業のコンビニエンスストア					
	ターゲットが抱える課題	突然の心停止に伴い、心肺蘇生(AEDの使用)を必要とする場合にAEDが無ければ、救命率が低下する。 公共施設は、休日や夜間は閉館しAEDを使用できないため、休日や夜間に発症した場合は、特に救命率が低下する。					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市内公共施設や24時間営業のコンビニエンスストアにAEDを設置することで、いつでもAEDを使用できる環境を整備する。						
事業概要	突然の心停止からの救命率向上について、AEDの有効性が実証されており、市では従来から本市公共施設に設置していた。しかし、夜間や休日はAED設置施設が閉館しているため、平成27年4月から24時間営業の市内コンビニエンスストアに協力を得て、常時AEDを設置できる環境を整備するもの。なお、コンビニエンスストアからの要望に応じて、AED講習会を枚方寝屋川消防組合と連携して行うもの。						

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
		緊急時にAEDを使用できる環境整備。				AEDを適正に管理する。				公共施設へAEDを設置する。					
指標設定	指標説明		健康福祉総務課が設置・所管するAEDの正常作動率 【算出式: 正常に作動したAED台数/実際に使用したAED台数】				健康福祉総務課が設置・所管するAEDの適正管理台数				公共施設へのAED設置台数				
			単位	%				単位	台				単位	台	
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値			R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)		100	100	100	100	15	15	15	15	15	15	15	15
		実績		100	100	100	100	15	15	16	16	15	15	16	16
達成度		100%				107%				107%					

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
ロジックモデル②		緊急時にAEDを使用できる環境整備。				AEDを適正に管理する。				市内24時間営業のコンビニへAEDを設置する。				
指標設定 ②	指標説明	健康福祉総務課が設置・所管するAEDの正常作動率 【算出式:正常に作動したAED台数/実際に使用したAED台数】				コンビニ設置AEDの適正管理台数				市内24時間営業のコンビニAED設置台数				
		単位		%		単位		台		単位		台		
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	100	100	100	100	90	90	90	90	90	90	90	90
		実績	100	100	100	100	96	94	95	95	96	94	95	95
	達成度		100%				106%				106%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.14
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

			R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	943	1,641	1,105		
		会計年度任用職員	0	0	0		
		特別職非常勤	0	0	0		
		附属機関委員	0	0	0		
		人件費計	943	1,641	1,105		
	物件費計		2,632	2,524	2,543	2,934	86.7%
	歳出計		3,575	4,165	3,648		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）			2,632	2,524	2,543	2,934	

5. 総括的分析

総括的分析	設置しているAEDについて適正に管理を行い、常時AEDが使用できる環境を整備出来た。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、常時AEDが使用できる環境整備に取り組む。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 182

事務事業名称	休日・土曜夜間急病診療事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	8.安心して適切な医療が受けられるまち									
	実行計画名	8-1.医療体制の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1974(S49)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	救急患者			
	サブターゲット	枚方市医師会			
	ターゲットが抱える課題	日曜日・祝日・年末年始や土曜日の夜間に病気を発症した場合、一般の診療所等は診療を行っていないため、受診することができない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	日曜日・祝日・年末年始や土曜日の夜間に病気を発症した場合でも、内科診療を受診することができる。				
事業概要	・診療科目は内科と小児科。 ・診療日時は日曜日、祝日、年末年始の午前10時～12時及び午後1時～5時、土曜日の午後6時～9時。 ・診療業務については、枚方市医師会に全面委託し実施する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		市民が安心して適切な医療が受けられるまちにつながる。	休日・土曜夜間に病気を発症した場合にも診療を受けることができる。	休日・土曜夜間に、内科及び小児科の診療を行う。
指標設定	指標説明	患者の受け入れ率 【算出式: 受け入れ件数／患者数×100】	受診者数	年間診察日数
		単位 %	単位 人	単位 日
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標 (見込み)	100 100 100 100	5,500 5,500 5,500 5,500	122 123 122 122
	実績	100 100 100 100	1,365 2,900 5,771 6,943	122 123 122 123
達成度		100%	126%	101%

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.10
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,729	937	790		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,729	937	790		
歳入	物件費計	62,925	62,925	62,926	63,126	99.7%
	歳出計	64,654	63,862	63,716		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		62,925	62,925	62,926	63,126	

5. 総括的分析

総括的分析	休日、土曜夜間の初期救急医療体制を確保することで、救急で来院した患者に対して、適切な医療を提供することができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も継続して、実施する。

事務事業実績測定調査

R5調書番号 184

事務事業名称	高度救命救急医療推進協議会負担金交付事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	健康福祉部		課	健康福祉政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標	8.安心して適切な医療が受けられるまち								
	実行計画名	8-1.医療体制の充実								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2006(H18)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	北河内北東部地域高度救命救急医療補助金交付要綱				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	救急患者			
	サブターゲット	関西医科大学附属病院			
	ターゲットが抱える課題	重篤患者が迅速かつ適切な医療の提供を受けることができず、生命の危機に陥る可能性が高まる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	重篤患者に対して迅速かつ適切な医療を提供することで、患者の生命を守ることができる。				
事業概要	北河内北東部の高度救命救急体制を維持するため、関西医科大学附属病院に対して、枚方市、寝屋川市、交野市の3市による支援を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			北河内北東部の高度救命救急体制が維持される。				高度救命救急医療推進協議会が 関西医科大学附属病院へ補助金 を交付する。			
指標設定	指標説明		重篤患者の受け入れ人数				補助金交付率			
				単位	人		単位	%		
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		700	700	700	700	100	100	100	100
	実績		922	830	841	1,324	100	100	100	100
達成度			189%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.13
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,336	1,016	1,026		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,336	1,016	1,026		
	物件費計	10,601	10,601	10,601	10,601	100.0%
歳出計		11,937	11,617	11,627		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	3,901	3,901	3,901	3,900	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	3,901	3,901	3,901	3,900	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		6,700	6,700	6,700	6,701	

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度については想定どおりであった。今後も引き続き高度救命救急体制の維持に努める。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も引き続き高度救命救急体制の維持に努める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 185

事務事業名称	二次救急医療負担金交付事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	健康福祉部		課	健康福祉政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標	8.安心して適切な医療が受けられるまち								
	実行計画名	8-1.医療体制の充実								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2000(H12)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	北河内二次救急医療協議会規約				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	救急患者			
	サブターゲット	北河内医療圏内の二次救急医療機関(救急告示病院)			
	ターゲットが抱える課題	北河内医療圏内の二次救急医療体制を確保・維持できないと、救急患者が受診することができない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	北河内医療圏内の二次救急医療体制を確保・維持することで、救急患者が受診することができる。				
事業概要	北河内7市の行政で「北河内二次救急医療協議会」を組織し、北河内医療圏域の二次救急医療に関する事務を共同で行う。 ①病院群輪番制病院運営事業補助 ②小児救急医療支援事業補助 ③北河内小児救急協力医療機関支援事業補助として、該当する医療機関に対して協議会から補助金を支出する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			北河内医療圏内の二次救急医療体制が確保・維持できる。				二次救急医療負担金を交付する。			
指標設定	指標説明		二次救急医療協議会補助金(病院群輪番制病院運営事業)の対象医療機関における年間開設日数				二次救急医療協議会補助金(病院群輪番制病院運営事業)の対象医療機関における交付割合			
				単位	日		単位	%		
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		365	365	365	366	100	100	100	100
	実績		365	365	365	366	100	100	100	100
達成度			100%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.25
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,264	3,125	1,974		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	5,264	3,125	1,974		
	物件費計	27,239	27,250	27,380	27,380	100.0%
歳出計		32,503	30,375	29,354		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	16,801	16,801	16,869	16,869	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	16,801	16,801	16,869	16,869	
一般財源（物件費に充当されるもの）		10,438	10,449	10,511	10,511	

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度については想定どおりであった。今後も引き続き二次救急医療体制の確保・維持に取り組む。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き二次救急医療体制の確保・維持に取り組む。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 186

事務事業名称	北河内こども夜間救急センター運営事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	健康福祉部		課	健康福祉政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標	8.安心して適切な医療が受けられるまち								
	実行計画名	8-1.医療体制の充実								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事业	区分	非選択的事務事業
事業期間	1980(S55)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	北河内夜間救急センター設置条例、北河内夜間救急センター設置条例施行規則、北河内夜間救急センター協議会規約				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	救急患者			
	サブターゲット	北河内7市による協議会			
	ターゲットが抱える課題	夜間に病気を発症した場合、一般の診療所等は診療を行っていないため、受診することができない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	北河内こども夜間救急センターにおいて、夜間に小児科診療を受けられる。				
事業概要	・入院の必要がない軽症患者の小児科診療を行うため、北河内こども夜間救急センターにおいて、一般の診療所等が診療を行っていない夜間に小児科診療(中学校3年生まで)を実施する。 ・北河内7市で協議会を設置し、北河内こども夜間救急センター運営費を負担する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						夜間小児科診療が開設される。				北河内こども夜間救急センター運営負担金を交付する。			
指標設定	指標説明					北河内こども夜間救急センターの年間開設日数				負担金交付率			
							単位	日			単位	%	
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					365	365	365	366	100	100	100	100
	実績					365	365	365	366	100	100	100	100
達成度						100%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.32
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	8,014	7,343	10,421		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	8,014	7,343	10,421		
歳入	物件費計	147,415	140,972	152,692	156,645	97.5%
	歳出計	155,429	148,315	163,113		
	国庫支出金	407	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	64,141	63,548	78,518	82,121	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	64,548	63,548	78,518	82,121	
一般財源（物件費に充当されるもの）		82,867	77,424	74,174	74,524	

5. 総括的分析

総括的分析	北河内7市が連携して北河内子ども夜間救急センターの運営費を負担することで、年間365日夜間の小児救急医療体制を確保し、北河内子ども夜間救急センターを運営することができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	今後も北河内7市や医師会など関係機関が連携し、北河内子ども夜間救急センターの適正な運営を継続する。また、小児初期救急医療の充実に向けて令和6年9月より当センターの診療時間を1時間延長する。

事務事業実績測定調査

R5調書番号 188

事務事業名称	枚方市病院事業会計に対する負担金・補助金交付事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	健康福祉部		課	健康福祉政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標		8.安心して適切な医療が受けられるまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	地方公営企業法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市立ひらかた病院			
	サブターゲット	市立ひらかた病院を利用する市民			
	ターゲットが抱える課題	市立ひらかた病院の安定的・継続的な経営			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	市立ひらかた病院の経営健全化を促進し経営基盤を強化することで、市民が安心して適切な医療が受けられる。				
事業概要	・市立ひらかた病院の研究研修費や企業償還金、建設改良費などに要する経費について、地方公営企業法に基づき、一般会計から繰出しを行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類												
	指標数値	目標 (見込み)											
		実績											
	達成度												

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.04
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	314	312	316		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	314	312	316		
	物件費計	1,512,498	1,498,994	1,558,902	1,558,902	100.0%
歳出計		1,512,812	1,499,306	1,559,218		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		1,512,498	1,498,994	1,558,902	1,558,902	

5. 総括的分析

総括的分析	年2回、負担金の繰出しを行った。
-------	------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、必要な経費について一般会計から繰出しを行う。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 194

事務事業名称	医療通訳士登録派遣事業											
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標			2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標			8.安心して適切な医療が受けられるまち								
	実行計画名			8-1.医療体制の充実								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2013(H25)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	日本語を話せない外国人住民等			
	サブターゲット	日本語を話せない外国人住民等を診察する医療機関			
	ターゲットが抱える課題	日本語が話せないことにより、適切な医療を受けられない。 医療機関利用時におけるコミュニケーションギャップに起因する医師の負担や診療上のリスク			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	日本語を話せない外国人住民等が安心して市内の医療機関を利用し、適切に医療を受けることができる。 コミュニケーションギャップに起因する医師の負担や診療上のリスクを軽減した医療を提供できる。				
事業概要	日本語を話せない外国人住民等が、安心して市内の医療機関を利用できるとともに、コミュニケーションギャップに起因する医師の負担や診療上のリスクを軽減できるよう医療通訳士の養成と、医療機関への派遣を行う。 【医療通訳士登録派遣(平成31年3月31日現在)】 派遣開始時期:平成27年6月 対象言語:英語、中国語、韓国・朝鮮語の3カ国語 派遣対象機関:市内53の医療機関及び保健センター 派遣料金:無料 ※「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」の連携事業として実施。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム （活動効果）				アウトプット （活動結果）				インプット （活動）				
		日本語を話せない外国人住民等 が安心して市内の医療機関を利用 できる。				医療通訳士を医療機関へ派遣す る。				医療通訳士の養成を行う。				
指標設定	指標説明	通訳士派遣依頼件数のうち派遣で きた割合 【算出式:派遣件数／通訳士派遣 依頼件数×100】				派遣件数				活動人数				
		単位	%											単位
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 （見込み）	95	95	95	95	500	500	500	500	14	14	14	14
		実績	100	100	99.4	100	41	153	333	289	13	17	16	18
達成度		105%				58%				129%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.24
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,907	1,406	1,895		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,907	1,406	1,895		
歳入	物件費計	3,724	3,692	4,717	5,993	78.7%
	歳出計	6,631	5,098	6,612		
	歳入計 (物件費に充当される特定財源)	0	0	0	0	
一般財源 (物件費に充当されるもの)		3,724	3,692	4,717	5,993	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染拡大以降、病院の患者数が大幅に減少し、医療通訳の利用件数も減少したが、同感染症を取り巻く生活意識や行動の変化を受けて病院の患者数が回復傾向にあることに伴い、医療通訳の利用件数も増加傾向にある。しかし、コロナ禍前に設定した目標と比較すると、派遣件数は大幅に目標を下回る結果となり、また、令和5年度においては、前年度と比較して減少する結果となったことから、今後も引き続き派遣依頼件数を注視する必要がある。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	新型コロナウイルス感染症の感染拡大前は、医療通訳士の利用件数が想定以上に伸び、これ以上利用件数が増え、病院へ医療通訳士を派遣する際の調整が困難となる状況であった。事業の効率化及び派遣調整の負担軽減を図るため、医療通訳士の個別派遣(現行)と、特に派遣件数が多い病院(1病院)の院内常駐(新規)との併用を令和2年1月から試行実施し、令和2年4月から本格実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、本格実施に至っていない状況である。コロナ禍においても派遣件数が回復傾向にあるものの、高止まりの傾向が見受けられ、今後も引き続き派遣依頼件数を注視する必要がある。 また、通訳士を安定的に派遣するため、通訳士の募集および養成を行う。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 204

事務事業名称	介護保険特別会計繰出金事務									
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性		庶務的事務	区分		庶務的内部管理事務
事業期間	2000(H12)年度		年度	～	年度まで		
根拠法令等	介護保険法						
関係補助金名称				サンセット		～	
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	課職員					
	サブターゲット						
	ターゲットが抱える課題	介護保険法に基づく一般会計から介護保険特別会計への繰出金の支出管理を適正に行う必要がある。					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	介護保険法に基づく一般会計から介護保険特別会計への繰出金の支出管理が適正に行われている状態。						
事業概要	【市町村の負担割合】 保険給付費総額の12.5% 地域支援事業費のうち総合事業については12.5%、包括的支援事業・任意事業費については19.25% 人件費などの事務経費については100%						

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類												
	指標数値	目標 (見込み)											
		実績											
	達成度												

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.20
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,571	1,562	1,579		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,571	1,562	1,579		
歳入	物件費計	5,143,462	5,168,251	5,361,411	5,616,194	95.5%
	歳出計	5,145,033	5,169,813	5,362,990		
	国庫支出金	0	0	256,695	256,694	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
歳入	府支出金	0	0	128,348	128,347	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
歳入	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	385,043	385,041	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	5,143,462	5,168,251	4,976,368	5,231,153	

5. 総括的分析

総括的分析	介護保険法に基づく市町村(保険者)の負担金として、一般会計より介護保険特別会計へ繰出しを行う。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	適切な処理を行う。

事務事業実績測定調査

R5調書番号 210

事務事業名称	ひらかた高齢者保健福祉計画21推進事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	健康福祉部		課	健康福祉政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1999(H11)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	老人福祉法、介護保険法、枚方市社会福祉審議会条例、枚方市社会福祉審議会規則				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称	社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会				
事業対象	メインターゲット	高齢者			
	サブターゲット	介護保険サービス事業者			
	ターゲットが抱える課題	高齢者が可能な限り住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域全体で高齢者を支える仕組みづくりや、高齢者が継続して在宅生活ができる環境の整備が必要である。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	高齢者が個々の心身の状態や生活状況に応じて、いつまでも住み慣れた地域で生きがいをもち、元気で自分らしい生活を送ることができる。				
事業概要	老人福祉法及び介護保険法の規定に基づき、老人福祉計画と介護保険事業計画を「ひらかた高齢者保健福祉計画21」として一体的に策定することで、高齢者福祉事業の供給体制の確保及び介護保険事業に係る保険給付を円滑に実施していく。計画は、3年を1期とした計画期間とし、介護給付等対象サービスや、地域支援事業の必要量の見込みなどについて定めるとともに、介護保険料の改定も盛り込んだ計画とするもの。調査審議は、枚方市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会で行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
						「ひらかた高齢者保健福祉計画21」に係る取り組みが確実に推進される。				「ひらかた高齢者保健福祉計画21」の改訂および推進に係る事務を実施する。					
指標設定	指標説明						計画の進捗状況 【算出式:保険給付費及び地域支援事業費の実績値／計画値×100】 (ただし、令和3年度から第8期計画で新たに設定)				計画の進捗状況を調査・把握する回数				
							単位	%			単位	回			
	指標種類						増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値						R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)						100	100	100	100	3	3	3	3
		実績						90.30	95.24	95.09	95.23	4	2	3	4
達成度						95%				133%					

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.40
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,500	5,703	11,053		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	5,500	5,703	11,053		
	物件費計	0	3,034	3,652	3,540	103.2%
歳出計		5,500	8,737	14,705		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	1,616	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	1,616	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	1,418	3,652	3,540	

5. 総括的分析

総括的分析	令和5年度は第8期計画の最終年度であり、介護予防・日常生活支援総合事業の円滑な実施、認知症支援策及び在宅医療・介護連携事業の推進、介護保険施設等の整備など、第8期計画に掲げる各取り組みを進めた。 また、令和6年度から令和8年度を計画期間とする第9期計画の策定を行った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	ひらかた高齢者保健福祉計画21(第9期)に掲げる事項について、適切な進捗管理を行う。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 224

事務事業名称	市立くずは北デイサービスセンター維持管理事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	健康福祉部		課	健康福祉政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2015(H27)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市デイサービスセンター条例、介護保険法、老人福祉法				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市立くずは北デイサービスセンター利用者			
	サブターゲット	在宅で介護をしている家族			
	ターゲットが抱える課題	安全に利用できる施設への通所により、心身の健康と福祉の増進が図られ、在宅にて介護を継続することができる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	安全に利用できるよう必要な施設保全や保守点検等が実施され、市立くずは北デイサービスセンター利用者の心身の健康と福祉の増進が図られている状態。				
事業概要	平成18年3月まで枚方市立くずは北デイサービスセンターの運営及び維持管理業務を社会福祉法人大阪府母子寡婦福祉連合会に委託していた。平成18年4月からは、指定管理者制度を導入し、指定管理者として社会福祉法人大阪府母子寡婦福祉連合会が管理運営を行っている。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
						市立くずは北ディサービスセンターが適正に維持管理されている。				必要な保守点検等を実施する。					
指標設定	指標説明					修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式:決算額/当初予算額×100】				保守点検や修繕、補修工事の件数。					
			単位	%	単位	件									
	指標種類		減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標								
	指標数値	目標 (見込み)						R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績						100以内	100以内	100以内	100以内	23	23	23	23
達成度						9090085.10				13211413					
						143%									

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.20
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,571	1,562	1,579		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,571	1,562	1,579		
	物件費計	5,429	0	20,900	24,560	85.1%
歳出計		7,000	1,562	22,479		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	16,700	19,600	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	16,700	19,600	
一般財源（物件費に充当されるもの）		5,429	0	4,200	4,960	

5. 総括的分析

総括的分析	修繕等に係る経費で積算金額が、30万以上の事案(保全計画含む)は市負担で修繕等が1件、30万未満の事案は指定管理者負担で4件、他に指定管理者が8件の建築設備等保守管理業務保守点検等を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、指定管理者による運営が適切に行われるよう、施設管理運営状況の確認を行うとともに、利用者が安全に施設を利用できるよう、必要な施設保全や保守点検等を実施していく。

事務事業実績測定調査

R5調書番号 225

事務事業名称	市立デイサービスセンター維持管理事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1997(H9)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市デイサービスセンター条例、介護保険法、老人福祉法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市立デイサービスセンター利用者			
	サブターゲット	在宅で介護をしている家族			
	ターゲットが抱える課題	安全に利用できる施設への通所により、心身の健康と福祉の増進が図られ、在宅にて介護を継続することができる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	安全に利用できるよう必要な施設保全や保守点検等が実施され、枚方市立デイサービスセンター利用者の心身の健康と福祉の増進が図られている状態。				
事業概要	平成18年3月まで枚方市立デイサービスセンターの運営及び維持管理業務を社会福祉法人大阪府母子寡婦福祉連合会に委託していた。平成18年4月からは、指定管理者制度を導入し、指定管理者として社会福祉法人大阪府母子寡婦福祉連合会が管理運営を行っている。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)										
						市立ディサービスセンターが適正に維持管理されている。				必要な保守点検等を実施する。										
指標設定	指標説明					修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合 【算出式: 決算額/当初予算額×100】				保守点検や修繕、補修工事の件数										
	指標種類				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標											
	指標数値				R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5	
	目標 (見込み)				100以内		100以内		100以内		100以内		28		28		28		28	
	実績				2		79.20		80.99		105.30		23		22		25		20	
達成度										129%										

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.20
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,571	1,562	1,579		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,571	1,562	1,579		
	物件費計	29,898	3,617	17,034	33,218	51.3%
歳出計		31,469	5,179	18,613		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	12,750	12,900	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	12,750	12,900	
一般財源（物件費に充当されるもの）		29,898	3,617	4,284	20,318	

5. 総括的分析

総括的分析	修繕等に係る経費で積算金額が、30万以上の事案(保全計画含む)は市負担で修繕等が2件、30万未満の事案は指定管理者負担が4件、他に指定管理者が14件の建築設備等保守管理業務保守点検等を行った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、指定管理者による運営が適切に行われるよう、施設管理運営状況の確認を行うとともに、利用者が安全に施設を利用できるよう、必要な施設保全や保守点検等を実施していく。

事務事業実績測定調査

R5調書番号 226

事務事業名称	市立特別養護老人ホーム維持管理事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	健康福祉部		課	健康福祉政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1993(H5)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市立特別養護老人ホーム条例、介護保険法、老人福祉法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市立特別養護老人ホーム利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	利用者の心身の健康と福祉の増進が図られ、また安全に利用できるよう必要な施設保全や保守点検等を実施する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	安全に利用できるよう必要な施設保全や保守点検等を実施され、枚方市立特別養護老人ホーム利用者が心身の健康と福祉の増進が図られている状態。				
事業概要	平成18年3月まで市立特別養護老人ホームの運営及び維持管理業務を社会福祉法人大阪府母子寡婦福祉連合会に委託していた。平成18年4月からは、指定管理者制度を導入し、指定管理者として社会福祉法人大阪府母子寡婦福祉連合会が管理運営を行っている。				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
ロジックモデル						市立特別養護老人ホームが適正に維持管理されている。				必要な保守点検等を実施する。				
指標設定	指標説明					修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式:決算額/当初予算額×100】				保守点検や修繕、補修工事の件数				
	指標種類		減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標							
	指標数値	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績					2	79.20	80.99	105.30	23	30	30	35
達成度										48%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.20
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,571	1,562	1,579		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,571	1,562	1,579		
歳入	物件費計	29,898	3,617	17,034	33,218	51.3%
	歳出計	31,469	5,179	18,613		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	12,750	12,900	
	その他	0	0	0	0	
歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	0	12,750	12,900	
一般財源（物件費に充当されるもの）		29,898	3,617	4,284	20,318	

5. 総括的分析

総括的分析	修繕等に係る経費で積算金額が、30万以上の事案(保全計画含む)は市負担で修繕等が2件、30万未満の事案は指定管理者負担が19件、他に指定管理者が14件の建築設備等保守管理業務保守点検等を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、指定管理者による運営が適切に行われるよう、施設管理運営状況の確認を行うとともに、利用者が安全に施設を利用できるよう、必要な施設保全や保守点検等を実施していく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 227

事務事業名称	総合福祉会館デイサービスセンター維持管理事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	健康福祉部		課	健康福祉政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1998 (H10) 年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市デイサービスセンター条例、介護保険法、老人福祉法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	総合福祉会館デイサービスセンター利用者			
	サブターゲット	在宅で介護をしている家族			
	ターゲットが抱える課題	安全に利用できる施設への通所により、心身の健康と福祉の増進を図れ、在宅にて介護を継続することができる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	安全に利用できるよう必要な施設保全や保守点検等を実施され、総合福祉会館デイサービスセンター利用者の心身の健康と福祉の増進が図られている状態。				
事業概要	平成18年3月まで枚方市立総合福祉会館デイサービスセンターの運営及び維持管理業務を社会福祉法人四天王寺福祉事業団に委託していた。平成18年4月からは、指定管理者制度を導入し、指定管理者として社会福祉法人四天王寺福祉事業団が管理運営を行っている。				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
ロジックモデル						総合福祉会館デイサービスセンターが適正に維持管理されている。				必要な保守点検等を実施する。					
指標設定	指標説明						修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合 【算出式:決算額/当初予算額×100】				保守点検や修繕、補修工事の件数				
															単位
	指標種類						減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				
	指標数値							R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)						100以内	100以内	100以内	100以内	2	2	2	2
		実績						0	0	0	0	1	1	0	16
達成度										-600%					

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.20
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,571	1,328	1,579		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,571	1,328	1,579		
	物件費計	3,470	609	484	0	
歳出計		5,041	1,937	2,063		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		3,470	609	484	0	

5. 総括的分析

総括的分析	修繕等に係る経費で積算金額が、1件30万円以上の事案(保全計画含む)は市が負担で1件、1件30万円未満の事案は指定管理者が負担で6件実施した。 総合福祉会館の建築設備等保守管理業務は他の指定管理者が行っており、総合福祉会館デイサービスセンターの指定管理者は必要に応じて按分で費用負担している。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、指定管理者による運営が適切に行われるよう、施設管理運営状況の確認を行うとともに、利用者が安全に施設を利用できるような、必要な施設保全や保守点検等を実施していく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 232

事務事業名称	高齢者お出かけ推進事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち								
	実行計画名	9-2.高齢者の生きがいづくりと外出支援								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2019(H31)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	高齢者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	高齢者が出かける意欲・体力がない。			
	ターゲットが抱える課題	高齢者が出かける場所、仲間をつくる場がない。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	高齢者が外出する機会が増え、健康づくりや介護予防につながる。				
事業概要	高齢者の外出支援につながる事業に参加した65歳以上の市民を対象にひらかたポイントを付与する。ひらかたポイントは市内の協力店舗で1ポイント1円としての利用や京阪バスポイントへの交換ができるほか、年度内に65歳以上となる市民(市内在住・在職)の方はタクシークーポン(大阪タクシー共通乗車券)にも交換できる。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		高齢者が出外する機会が増え、健康づくりや介護予防につながる。				ひらかたポイントを貯めるため、外出支援につながる事業等に参加する高齢者が増加する。				高齢者お出かけ推進事業の対象事業を実施する。			
指標設定	指標説明	高齢者お出かけ推進事業の延べ参加者数				高齢者お出かけ推進事業の付与ポイント数				高齢者お出かけ推進事業の対象事業			
				単位	人			単位	ポイント			単位	事業
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	-	-	14,000	14,000	-	-	250,000	250,000	-	-	11	11
	実績	-	-	12,517	14,044	-	-	266,640	288,130	-	-	11	11
達成度		100%				115%				100%			

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		高齢者が外出する機会が増え、健康づくりや介護予防につながる。				高齢者専用ポイントを貯めるため、外出支援につながる事業等に参加する高齢者が増加する。				65歳以上の市民を対象に、「高齢者お出かけ推進手帳」を配布する。			
指標設定②	指標説明	高齢者お出かけ推進事業の延べ参加者数				高齢者お出かけ推進事業の付与ポイント数				「高齢者お出かけ推進手帳」の配布部数			
	単位		人		単位		ポイント		単位		部		
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	101,000	101,000	-	-	1,152,000	1,152,000	-	-	10,000	10,000	-
実績		2,557	22,227	-	-	82,860	314,300	-	-	2,894	1,693	-	-
達成度		-				-				-			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.19
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	1,571	1,484	1,500		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,571	1,484	1,500		
	物件費計	1,560	1,560	1,560	1,560	100.0%
	歳出計	3,131	3,044	3,060		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		1,560	1,560	1,560	1,560	

5. 総括的分析

総括的分析	令和元年度から、65歳以上の方を対象に「高齢者お出かけ推進手帳」を配布し、介護予防のイベントや各種講座等への参加に対して高齢者専用ポイントを付与する事業として開始。令和4年度より高齢者お出かけ推進手帳・高齢者専用ポイント(シール)を廃止し、ひらかたポイントの直接付与に変更の上、対象事業を見直した。また、手帳・シールの廃止や手帳に貯めたポイントの移行について周知を行った。ひらかたポイントを直接付与するようになったことに伴い、参加者数・付与ポイント数は一部の事業で65歳未満を含むほか、一部の参加者数はポイント付与人数となっている。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	令和4年度より高齢者お出かけ推進手帳・高齢者専用ポイント(シール)を廃止し、ひらかたポイントを直接付与しており、合わせて対象事業の見直しを行った。令和6年度も引き続きひらかたポイントを直接付与する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 234

事務事業名称	楽寿荘維持管理事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2000(H12)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	老人福祉法第20条の7、枚方市立老人福祉センター楽寿荘条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	楽寿荘利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	楽寿荘を利用する利用者が、安全・快適に利用できるよう必要な施設保全や保守点検等を実施する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	楽寿荘利用者が、施設を安心して安全快適に利用することができ、心身の健康と福祉の増進を図っている。				
事業概要	【施設概要】老人福祉法第20条の7に規定する老人福祉センター。 施設を市民活動の場として提供するとともに、主に高齢者に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーション等の事業を行う。 施設の管理は、直営で実施しており、受付業務、屋外清掃等業務はシルバー人材センターに委託。利用時間は、午前10時から午後8時30分(毎週木曜日及び年末年始は休館)。老朽化による改修工事のため、平成22年8月31日より一時休館。23年4月1日にリニューアルオープン。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						楽寿荘が適正に維持管理されている。				必要な保守点検等を実施する。			
指標設定	指標説明					修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合 【決算額:決算額/当初予算額×100】				保守点検や修繕、補修工事の件数			
							単位	%			単位	件	
	指標種類					減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100以内	100以内	100以内	100以内	13	11	11	12
	実績					24.59	143.15	49.11	131	8	9	7	6
達成度										150%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.40
再任用	1.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	8,342	8,160	8,196		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	8,342	8,160	8,196		
歳入	物件費計	12,743	13,500	13,242	14,490	91.4%
	歳出計	21,085	21,660	21,438		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	1,077	1,384	1,425	2,147	
	市債	0	0	0	0	
	その他	549	0	0	0	
歳入	歳入計（物件費に充当される特定財源）	1,626	1,384	1,425	2,147	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	一般財源（物件費に充当されるもの）	11,117	12,116	11,817	12,343	

5. 総括的分析

総括的分析	窓ガラスや防犯灯、トイレ等の修繕を行った。 楽寿荘の年間延べ利用者数は21,367人で、前年から増加した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、利用者が、安全・快適に施設を利用できるよう必要な施設保全や保守点検を実施するとともに、施設の一層の利用促進に向けた取り組みを検討していく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 235

事務事業名称	敬老事業												
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5			
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち										
	施策目標		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1968(S43)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	高齢者			
	サブターゲット	高齢者福祉に関心と理解が少ない市民			
	ターゲットが抱える課題	高齢者向けのイベントが少なく、日ごろの楽しみや生きがいを創出する機会が必要。			
	ターゲットが抱える課題	高齢者を敬愛し、長寿を祝うことにより、市民が広く高齢者福祉に関心と理解を深める機会が必要。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民が広く高齢者福祉に関心と理解を深めるとともに、高齢者自ら、生きがいをもって生活できるよう高い意欲を持っている状態。				
事業概要	毎年9月を高齢者保健福祉月間として啓発イベント等を開催する。 ①「敬老のつどい」を開催 一部:高齢社会憲章朗読、優良老人クラブ・優良ひとり暮らし老人会の表彰、高齢者保健福祉月間啓発標語の特選作品の発表と表彰。 二部:プロによるアトラクション(アトラクションは委託) ②長寿祝品の配付 満年齢で米寿(88歳)の方に長寿をお祝いする記念品を届ける。 ③最高齢者表敬訪問、100歳高齢者祝福事業 市長または市の理事者が最高齢者を訪問し、花束及び記念品を贈呈する。また、100歳を迎える方に市からのお祝い電報(※)及び内閣総理大臣からの祝い状及び記念品を届ける。(※R3年度より。R2年度までは祝い状及び祝いの品の贈呈。) ④高齢者保健福祉月間啓発標語の募集 市民に呼びかけて標語を募集し特選・入選作品を決定し、賞状・記念品を贈呈するとともに、敬老のつどいで発表				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		市民の高齢者福祉に対する関心と理解、また、高齢者の生きがいや意欲の向上が図られる。				多くの市民が高齢者福祉に関心を持つ。				「敬老のつどい」を開催する。				
指標設定	指標説明		「敬老のつどい」参加者の満足度 【算出式:「満足」と回答した人数／回答人数×100】				「敬老のつどい」の参加者数				「敬老のつどい」など敬老事業の広報等による周知回数			
			単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	93	93	93	93	320	320	320	320	13	13	13	13
		実績	0	0	88	78	0	9	184	297	13	13	14	14
	達成度		84%				93%				108%			

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		市民の高齢者福祉に対する関心と理解、また、高齢者の生きがいや意欲の向上が図られる。				高齢者自らの生活の向上に努める意欲が高まる。				満年齢で米寿(88歳)の方に長寿をお祝いする記念品を届ける。市長または市の理事者が最高齢者を訪問し、花束及び記念品を贈呈する。100歳を迎える方に市からのお祝い電報及び内閣総理大臣からの祝い状及び記念品を届ける。				
ロジックモデル②														
指標設定②	指標説明	「敬老のつどい」参加者の満足度【算出式:「満足」と回答した人数／回答人数×100】				米寿祝品の配付人数及び、最高齢者と100歳高齢者祝福事業の人数				「米寿祝品の配付」及び「100歳高齢者祝福訪問」など敬老事業の広報等による周知回数				
		単位		%		単位		人		単位		回		
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標(見込み)	93	93	93	93	2,059	2,291	2,597	3,050	13	13	13	13
		実績	0	0	88	78	1,912	2,011	2,001	2,198	13	13	14	14
	達成度	84%				72%				108%				
ロジックモデル③		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		市民の高齢者福祉に対する関心と理解、また、高齢者の生きがいや意欲の向上が図られる。				応募作品の中から特選・入選作品を決定し、賞状・記念品を贈呈するとともに、敬老のつどいで発表する。				高齢者保健福祉月間啓発標語を募集する。				
指標設定③	指標説明	「敬老のつどい」参加者の満足度【算出式:「満足」と回答した人数／回答人数×100】				高齢者保健福祉月間啓発標語の応募件数				「高齢者保健福祉月間啓発標語の募集」など敬老事業の広報等による周知回数				
		単位		%		単位		件		単位		回		
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標(見込み)	93	93	93	93	36	36	36	36	13	13	13	13
		実績	0	0	88	78	17	17	130	41	13	13	14	14
	達成度	84%				114%				108%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.50
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.05
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	3,143	4,297	3,948		
	正職員、再任用、任期付					
	会計年度任用職員	0	0	146		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,143	4,297	4,094		
歳入	物件費計	2,781	4,082	4,599	4,857	94.7%
	歳出計	5,924	8,379	8,693		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)		0	0	0	0	
一般財源(物件費に充当されるもの)		2,781	4,082	4,599	4,857	

5. 総括的分析

総括的分析	①「敬老のつどい」 枚方市総合文化芸術センター関西医大小ホールにて開催。 ②長寿祝の配布 満年齢で米寿(88歳)の方2,097人に記念品(飯碗)を送付。 ③最高齢者、100歳高齢者祝福事業 最高齢者(男女)を訪問し花束と記念品を贈呈。100歳を迎える方99人にお祝い電報を送付。 ④高齢者保健福祉月間啓発標語の募集 41作品の応募があり、特選1作品、入選2作品を選定。 各種事業の実施により、高齢者を敬愛するとともに、高齢者福祉への関心と理解を深めることに寄与できた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、同様の手法により事業実施予定

事務事業実績測定調書

R5調書番号 236

事務事業名称	枚方市シルバー作業所維持管理事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	健康福祉部		課	健康福祉政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1993(H5)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市シルバー作業所利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	枚方市シルバー作業所の利用者が、安全・快適に利用できるよう必要な施設保全や保守点検等を実施する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	枚方市シルバー作業所利用者が、施設を安心して安全快適に利用することができ、心身の健康と福祉の増進を図っている。				
事業概要	【施設概要】高齢者に就業の拠点を提供し、高齢者の生きがいを高めるとともに、その能力をいかした活力ある地域社会作りに寄与することを目的とした施設。 施設設備の維持管理のため、各種保守点検業務等を委託により実施している。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						枚方シルバー作業所が適正に維持管理されている。				必要な保守点検等を実施する。			
指標設定	指標説明					修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式:決算額/当初予算額×100】				保守点検や修繕、補修工事の件数。			
						単位				単位			
	指標種類					減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100以内	100以内	100以内	100以内	12	17	11	11
	実績					66.30	111.09	6.85	69.66	10	11	10	10
達成度										109%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.30
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,357	2,344	2,369		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,357	2,344	2,369		
歳入	物件費計	5,296	5,094	6,753	6,846	98.6%
	歳出計	7,653	7,438	9,122		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	604	596	550	
歳入	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	604	596	550	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	一般財源（物件費に充当されるもの）	5,296	4,490	6,157	6,296	

5. 総括的分析

総括的分析	施設の維持管理に必要な清掃業務委託やエレベーター保守委託などを行ったほか、保全計画に基づく給水設備更新工事を実施した。安心・安全な施設の利用に寄与できたと考えられる。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、施設の維持管理を適正に行う。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 240

事務事業名称	高齢者のICT利用促進事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	健康福祉部		課	健康福祉政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3	○	R4	○	R5
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	R3年度(2021年度)	年度	～		年度まで
根拠法令等					
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	スマートフォン等を保有しているが、十分に活用できていない高齢者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	スマートフォン等のICT機器を十分に活用できないため、市政情報などの迅速かつ適切な取得が難しい			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	高齢者等がスマートフォン等のICT機器を活用し、市政情報などを迅速かつ適切に取得しながらいきいきと暮らせる状態				
事業概要	スマートフォンなどのICT機器の活用は、生活の利便性を向上させるだけでなく、災害などの危機事象発生時には、市からの情報を迅速に取得して適切な避難行動につなげることができるため、民間事業者などと連携したスマートフォン講座の開催などにより、高齢者のICT活用をソフト面でサポートする体制の充実を図る。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		高齢者がスマートフォン等のICT機器を活用し、いきいきと暮らせる。				高齢者等がスマートフォン教室等に興味を持ち参加する。				通信事業者等と連携し、スマートフォン教室などを開催する。				
指標設定	指標説明	スマホ教室参加者等へのアンケートで「以前よりもスマホ等を使えるようになった」と回答した人の割合				スマートフォン教室などへの参加者数				スマートフォン教室などの開催回数				
	単位		%		単位		人		単位		回			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	-	-	60	70	-	-	150	160	-	-	50	50
		実績	-	-	83.40	83.40	-	-	261	279	-	-	27	39
達成度		119%				174%				78%				

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		高齢者がスマートフォン等を活用し、「新しい生活様式」を実践しながらいきいきと暮らせる。				アプリを活用し、ひらかたポイントを獲得することなどを通じて、スマートフォン等の操作に慣れる。				通信機器を保有していない高齢者や、いわゆるガラケーのみを保有している高齢者が通信事業者のサポートを受け、本市アプリ等をダウンロードする。			
指標設定②	指標説明	モニター期間終了時のLINE公式アカウントの登録者数(モニター期間開始前との差)				付与したひらかたポイント				高齢者モニター協力者数			
		単位				単位				単位			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	-	1,000	-	-	-	3,000,000	-	-	-	1,000	-	-
指標設定②	実績	-	616	-	-	-	1,382,000	-	-	-	616	-	-
	達成度	-				-				-			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.31
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.02
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	2,750	3,047	2,447		
	正職員、再任用、任期付	2,750	3,047	2,447		
	会計年度任用職員	0	0	58		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,750	3,047	2,505		
歳入	物件費計	1,389	0	0	0	
	歳出計	4,139	3,047	2,505		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
歳入	その他	0	0	0	0	
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	0	0	
一般財源(物件費に充当されるもの)		1,389	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	令和5年度は、市内生涯学習市民センター等において39回スマートフォン講座を開催した。279人参加され、約8割の受講者が講座の内容に満足し、高齢者のICT活用に支援できた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、通信事業者との連携協定や、総務省のデジタル活用支援推進事業を活用し、高齢者向けのスマホ教室を実施していく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 244

事務事業名称	福祉バス運行委託事業											
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標			2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標			10.障害者が自立し、社会参加ができるまち								
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2004(H16)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	リフト付きバス利用要綱				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	福祉バスを利用する団体に加入している障害者や高齢者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	外出するための費用が負担となり、障害者や高齢者の外出する手段、機会が減少している。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	障害者や高齢者が福祉バスを利用することで、外出や社会参加の機会が増え、健やかに生きがいを持って暮らすことができる。				
事業概要	総合福祉センターの送迎に供しない日を、福祉バスとして利用している。 1. 福祉バス運行日 金曜日、日曜日 2. 送迎バス運行日 火曜日、木曜日				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		障害者や高齢者の外出や社会参加が増える。				福祉バスが運行される。				福祉バスの運行を委託する。				
指標設定	指標説明	福祉バスの延べ利用者数				福祉バスの利用実績件数				福祉バスの運行可能日数				
	単位		人		単位		件		単位		日			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	2,340	2,340	2,340	2,340	90	90	90	90	100	100	100	100
		実績	0	0	617	892	0	0	25	40	18	9	41	103
達成度		38%				44%				103%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.10
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	786	781	790		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	786	781	790		
	物件費計	12,375	14,003	14,300	15,800	90.5%
歳出計		13,161	14,784	15,090		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		12,375	14,003	14,300	15,800	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症について5月より5類になったこともあり、延べ892人(40回)の利用があった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	バスの老朽化により車両の借り換えを行ったことに伴い、令和5年度より一般道のみ往復150km以内の走行に変更となった。今後も引き続き、実施方法等について検討する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 254

事務事業名称	更生保護サポートセンター運営補助事業												
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部				課	健康福祉政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5			
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち											
	施策目標	3.暮らしに身近な安全が確保されたまち											
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2013(H25)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方・交野地区更生保護サポートセンター支援補助金交付要綱				
関係補助金名称	枚方・交野地区更生保護サポートセンター支援補助金		サンセット	2023(R5)年度	～ 2025(R7)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	拠点があることによって充実した活動を行える保護司			
	サブターゲット	罪を犯した人			
	ターゲットが抱える課題	更生のためには本人の意思とともに周囲の協力が不可欠だが、刑期を終えて出所された方を受け止めるための受け皿が少ない。			
	ターゲットが抱える課題	更生させ、再犯を防止するためには、本人との面談等を通じた信頼関係の構築・居場所づくり・就職援助等、多岐にわたる課題があり、保護司がそれらの活動を安心かつ安全に行える拠点が必要。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	サポートセンターが、その場所を必要とする方に対して継続的に開かれ、今後もいっそう市の更生保護の推進に寄与すること。				
事業概要	地域における更生保護の活動拠点として、平成25年10月に設置された枚方・交野地区更生保護サポートセンターの運営を行う枚方・交野地区保護司会を支援する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		保護司活動を安心かつ安全に行うことができる。	更生保護サポートセンターを開所することができる。	更生保護サポートセンター運営補助金を交付する。
指標設定	指標説明	センターにおける電話、来所等の対応件数	開所日数	補助金の交付金額
		単位 件	単位 日	単位 千円
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	減少することが良いとされる指標
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標 (見込み)	245 245 245 245	245 245 245 245	911 911 911 911
	実績	197 202 190 171	136.50 122 236 235	911 911 914 914
達成度		70%	96%	100%

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.18
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	393	391	1,421		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	393	391	1,421		
	物件費計	260	911	914	914	100.0%
歳出計		653	1,302	2,335		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	600	600	600	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	600	600	600	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		260	311	314	314	

5. 総括的分析

総括的分析	保護司の安全性も確保しながら、犯罪をした方への相談等に応じることができる活動拠点として、再犯防止に資するものである。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	更生保護活動を円滑に実施するため、今後も引き続き支援を行う。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 257

事務事業名称	骨髄バンクドナー支援事業									
測定年度	2023 (R5) 年度		部	健康福祉部		課	健康福祉政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2020(R2)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称	骨髄バンクドナー助成金			サンセット	2023(R5)年度 ～ 2025(R7)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	骨髄バンクドナーになっている、あるいはなる意志のある市民			
	サブターゲット	メインターゲットの市民が従事している			
	ターゲットが抱える課題	骨髄・末梢血幹細胞提供にあたり、平日の日中に複数回に渡って医療機関へ出向くことが必要であるため、負担が大きい。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	事業の実施により、骨髄等の提供者及び骨髄バンクのドナー登録者が増える。				
事業概要	白血病などの血液疾患の治療に必要となる骨髄・末梢血幹細胞提供者(ドナー)は、提供にあたり、平日の日中に複数回に渡って医療施設に出向くことが必要であるため、ドナー及びドナーが従事している事業所に対し、助成金を交付することにより、骨髄等移植及びドナー登録の推進を図る。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		助成金による支援により、骨髄バンクのドナー登録者が増加する。				骨髄・末梢血幹細胞の提供が完了し、他の補助金等の交付を受けていない方による助成金の申請が増える。				骨髄バンクドナー支援事業に関する周知・啓発を行う。				
指標設定	指標説明	市内における骨髄バンクのドナー登録者数				ドナー支援事業申請者数				事業に関する各種啓発冊子等の配布冊数				
	単位		人		単位		人		単位		冊			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	1,180	1,250	1,325	1,400	5	5	5	5	500	300	300	300
		実績	1,211	1,252	1,278	1,324	2	2	5	5	700	900	1,020	2,100
達成度		95%				100%				700%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.13
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	393	312	1,026		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	393	312	1,026		
歳入	物件費計	350	770	630	1,050	60.0%
	歳出計	743	1,082	1,656		
	歳入計 (物件費に充当される特定財源)	0	0	0	0	
一般財源 (物件費に充当されるもの)		350	770	630	1,050	

5. 総括的分析

総括的分析	ドナーに対し、4件の助成金を交付することができた。また、うち1件は、ドナーが勤務する事業所に対しても助成金の交付を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	庁内及び関係各所へのチラシの配付等により周知に努める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 269

事務事業名称	休日歯科急病診療所補助事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	8.安心して適切な医療が受けられるまち									
	実行計画名	8-1.医療体制の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1987(S62)年度	年度	～	年度まで	
根拠法令等	枚方休日歯科急病診療所運営補助金交付要綱				
関係補助金名称	枚方休日歯科急病診療所運営補助金			サンセット	2023(R5)年度 ～ 2025(R7)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	救急患者			
	サブターゲット	枚方市歯科医師会			
	ターゲットが抱える課題	日曜日・祝日・年末年始に歯科急病を発症した場合、一般の歯医者では診療を行っていないため治療が受けられない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	日曜日・祝日・年末年始に歯科急病を発症した場合でも、応急的治療を受けることができる。				
事業概要	本市の休日における歯科急病診療需要に応えるため、歯科医師会が開設している休日歯科急病診療所を補助する。 ・休日歯科急病診療所は、歯科医師会の補助事業として、歯科急病患者の応急的治療を目的に、日曜日・祝日・年末年始に保健センター内において開設している。 ・診療時間は午前10時～正午までと午後1時30分～午後5時まで。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市民が安心して適切な医療が受けられるまちにつながる。				日曜日・祝日・年末年始に歯科急病を発症した場合でも、応急的治療を受けることができる。				枚方休日歯科急病診療所運営補助金の交付により休日歯科急病診療所が開設される。			
指標設定	指標説明	患者の受け入れ率 【算出式:受け入れ件数／患者数×100】				受診者数				年間診察日数			
		単位	%	単位	人	単位	日						
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	100	100	100	100	750	750	750	750	72	72	72
実績		100	100	100	100	715	722	680	658	72	72	72	73
達成度		100%				88%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.07
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,121	625	553		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,121	625	553		
歳入	物件費計	38,668	19,184	19,187	20,687	92.7%
	歳出計	40,789	19,809	19,740		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		38,668	19,184	19,187	20,687	

5. 総括的分析

総括的分析	受診者数は見込みを下回る結果であったものの、日曜・祝日・年末年始すべて診療体制を整えており、休日の歯科急病医療体制を確保することで、救急で来院した患者に対して適切な医療を提供することができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も継続して、実施する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 275

事務事業名称	保護司会運営補助事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり							
	施策目標		30.市民による活発なまちづくり活動を支援します							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2009(H21)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称	枚方市保護司会運営事務補助金			サンセット	2023(R5)年度 ～ 2025(R7)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	事務局を置くことによって充実した活動を行える保護司			
	サブターゲット	・罪を犯した人 ・罪を犯した人の更生や、非行の防止を援助することにより地域で安心して暮らせる市民全体			
	ターゲットが抱える課題	保護司の多岐にわたる職務を支援する事務局としての立場が必要。			
	ターゲットが抱える課題	更生援助や非行の防止のためには、保護司だけでなく各更生保護関係組織(更生保護女性会・BBS会・協力雇用主会等)とも密に連携する必要があり、各構成団体を繋ぐ役割を担う事務局としての立場が必要。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	事務局が機能することで、関係組織との協力体制がいつそう円滑に行われるなど保護司会活動が推進され、市の更生保護が推進される。				
事業概要	「社会を明るくする運動」の中心的存在でもある保護司会の運営にかかる事務を円滑に遂行できるよう、枚方市社会福祉協議会を支援する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
		保護司会の運営にかかる事務及び社会を明るくする運動の事務が円滑に実施できる。				枚方市社会福祉協議会に事務局が設置される。				枚方市保護司会運営事務補助金を交付する。					
指標設定	指標説明		保護司会活動数(定例会、校区懇談会の開催回数)				保護司の人数(枚方地区のみ)				補助金の交付金額				
	単位		件		単位		人		単位		千円				
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				
	指標数値	R2		R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)		12	12	12	12	93	93	93	93	8,816	8,816	8,816	8,816
		実績		7	7	9	10	87	86	82	79	8,816	8,666	8,594	8,380
達成度		83%				85%				105%					

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.29
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	393	937	2,290		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	393	937	2,290		
歳入	物件費計	8,527	8,376	8,243	8,380	98.4%
	歳出計	8,920	9,313	10,533		
	歳入計 (物件費に充当される特定財源)	0	0	0	0	
一般財源 (物件費に充当されるもの)		8,527	8,376	8,243	8,380	

5. 総括的分析

総括的分析	アウトカム指標は目標に届かなかったものの、前年度よりは微増した。また、アウトプットにおいては、目標指数を達成することができ、保護司が更生保護活動を行うことで、再犯の防止による安心安全のまちづくりに寄与することができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、保護司が更正保護活動を円滑に行うために支援するとともに、枚方市社会福祉協議会が事務を円滑に遂行できるよう補助する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 282

事務事業名称	民生委員児童委員協議会事務補助事業												
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5			
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり										
	施策目標		30.市民による活発なまちづくり活動を支援します										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2003 (H15) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	民生委員協議会・日本赤十字社・共同募金事務補助金交付要綱				
関係補助金名称	民生委員協議会・日本赤十字社・共同募金会事務補助金			サンセット	2023 (R5) 年度 ～ 2025 (R7) 年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	拠点・事務局があることによって充実した活動を行える民生委員・児童委員			
	サブターゲット	民生委員・児童委員の活動が充実することで、市民全体が地域で安心して暮らせる。			
	ターゲットが抱える課題	民生委員・児童委員の多岐にわたる活動にあたり、事務的な支援が必要。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	事務局が設置されることで、民生委員・児童委員の活動が円滑に推進され、市民の福祉が向上する。				
事業概要	民生委員児童委員協議会の事務局事務を行う社会福祉協議会を支援する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		民生委員・児童委員の活動が円滑に推進され、市民の福祉が向上する。				民生委員児童委員協議会事務局が設置される。				民生委員協議会・日本赤十字社・共同募金会事務補助金を交付する。				
指標設定	指標説明	民生委員・児童委員の延べ活動件数				役員会・校区委員長会 開催回数				民生委員委嘱者数(3月31日時点)				
	単位		件		単位		回		単位		人			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	80,000	80,000	80,000	80,000	10	10	10	10	465	465	465	465
	実績	10,850	11,697	10,738	10,583	9	14	17	12	477	486	458	466	
達成度		13%				120%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.11
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	786	1,250	868		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	786	1,250	868		
	物件費計	19,037	18,816	18,153	18,371	98.8%
歳出計		19,823	20,066	19,021		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		19,037	18,816	18,153	18,371	

5. 総括的分析

総括的分析	アウトカムについては微少したが、新型コロナウイルスが5類に移行したことに伴い、役員会・校区委員長会以外に、管外研修や子育てサロンゆりかご等の活動を再開した。また、委嘱者数についても想定通りであった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、枚方市民生委員児童委員協議会の事務局を担う枚方市社会福祉協議会に対する補助を通し、社会福祉の増進を図る。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 283

事務事業名称	ハンセン病問題解決に係る啓発事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	健康福祉部		課	健康福祉政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標	11.すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性		選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2009(H21)年度		年度	～		年度まで
根拠法令等	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律					
関係補助金名称				サンセット	～	
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	市民				
	サブターゲット	本市職員				
	ターゲットが抱える課題	ハンセン病に対する誤解や偏見などが残っており、正しい知識を持ち合わせていない市民への啓発				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民や本市職員がハンセン病問題について深く理解し、偏見と差別のない社会が実現することで、ハンセン病回復者等が地域社会から孤立することなく、良好かつ平穏な生活を営むことができるようになる。					
事業概要	ハンセン病回復者等が地域社会から孤立することなく、良好かつ平穏な生活を営むことができるような社会の構築のため、本市職員及び市民の人権意識の向上を図る。 ハンセン病回復者等に対する偏見と差別のない社会の実現に向けて、市民等を対象とした講演会及び映画会の開催、ちらし・リーフレット等の配布により、ハンセン病問題に関する啓発を行う。					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		市民等の人権意識の向上が図られる。				イベント等に市民等が参加する。				講演会及び映画会などの啓発事業を実施する。				
指標設定	指標説明		イベント等への参加を通して人権意識の向上につながった人の割合 【算出式:啓発事業来場者アンケートで、「人権意識が向上した」と回答した人の数／回収数】				イベント等の参加者数				啓発事業の実施回数			
			単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	80	80	80	80	200	200	200	200	1	1	1	1
		実績	67.74	75	88.89	67.19	224	191	536	331	1	1	1	1
	達成度		84%				166%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.13
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,257	937	1,026		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,257	937	1,026		
	物件費計	10	0	0	600	0.0%
歳出計		1,267	937	1,026		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		10	0	0	600	

5. 総括的分析

総括的分析	枚方市健康・医療・福祉フェスティバルにて啓発ブースを設置した。 啓発を目的に作成した市民向けリーフレットをホームページや関係課の窓口に設置し市民に配布した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、啓発を行い、本市職員及び市民の人権意識の向上を図る。

事務事業実績測定調査

R5調書番号 298

事務事業名称	遺家族援護事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標		13.平和の大切さを後世に伝えるまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	①戦没者及び戦傷病者の妻に対する特別給付金支給法 ②戦没者等の遺族に対する特別弔慰金支給法 等				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	戦没者等の遺族に対する特別弔慰金の請求をしたいという意向を持つ市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	先の大戦で公務等のために国に殉じた元軍人、軍属および準軍属に対して、弔慰の意を表すことを目的とした国からの弔慰金を受け取りたい。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	市内すべての弔慰金受給権者が申請を行い、弔慰金を受け取る。				
事業概要	特別弔慰金、特別給付金等の請求受理・送付業務・戦没者慰霊事業等の連絡業務・その他、援護関係PR業務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						弔慰金受給権者が弔慰金を受け取る。				弔慰金受給権者からの申請を受け付ける。			
指標設定	指標説明					特別弔慰金・特別給付金交付件数				特別弔慰金・特別給付金の申請件数			
						単位	件			単位	件		
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					55	504	872	431	1,091	257	554	2
	実績					41	1,059	226	303	1,068	216	404	0
達成度						70%				0%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.18
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.10
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,478	3,515	1,421		
	会計年度任用職員	1,005	847	232		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	5,483	4,362	1,653		
歳入	物件費計	170	91	46	180	25.6%
	歳出計	5,653	4,453	1,699		
	国庫支出金	0	0	0	0	
歳入	府支出金	170	91	46	180	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	170	91	46	180	
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度については概ね想定どおりであった。
-------	-------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も円滑な申請受付及び国債交付に努める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 302

事務事業名称	献血推進事業												
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部				課	健康福祉政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3			R4		R5		
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり										
	施策目標		30.市民による活発なまちづくり活動を支援します										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市献血推進事業補助金交付要項				
関係補助金名称	枚方市献血推進事業補助金		サンセット	2023 (R5) 年度	～ 2025 (R7) 年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市民全般(血液を必要とする市民や、献血者数が減少していることから、献血経験がない・献血思想がない市民に対しても献血推進活動を行っている)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	血液を必要としているが、安心して輸血を受けられる体制が整っておらず、血液が不足している。 献血についての知識や経験がないことから、献血者数が低下している。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	事業が継続されることで、年間を通しての継続的な献血量が確保される。				
事業概要	枚方市社会福祉協議会が献血推進協議会を設置し、事業計画に基づく献血事業を毎年展開。 京阪枚方市駅、樟葉駅前での街頭キャンペーンをはじめ、校区福祉委員会との連携あるいは高校、大学の学域、事業所、病院、市役所等の職域などの関係機関・団体にも協力を依頼するなど、献血活動を推進。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		年間を通しての継続的な献血量が確保される。				献血推進協議会の事業計画に基づく献血事業を実施する。				枚方市献血推進事業補助金を交付する。				
指標設定	指標説明	採血者数				地域における啓発取り組み回数				献血推進協議会 構成団体数				
	単位	件	単位	回	単位	団体								
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	26,000	26,000	26,000	26,000	8	8	8	8	16	15	15	15
		実績	20,427	20,089	19,836	17,554	2	4	4	7	16	15	15	15
達成度		68%				88%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.06
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	864	391	474		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	864	391	474		
	物件費計	5,554	5,475	5,390	5,429	99.3%
歳出計		6,418	5,866	5,864		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		5,554	5,475	5,390	5,429	

5. 総括的分析

総括的分析	枚方市駅周辺の開発等の影響により、献血ルームでの献血者数が例年よりも減少したことから、アウトカムについては目標を下回る値となっている。なお、アウトプットについても目標を下回る値となっている。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	駅前での街頭キャンペーンなどの啓発活動を行うとともに、各関係機関の協力を得ながら、引き続き献血活動を推進していく。

事務事業実績測定調査

R5調書番号 307

事務事業名称	福祉活動・福祉団体等補助事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり							
	施策目標		30.市民による活発なまちづくり活動を支援します							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市福祉活動・福祉団体等補助金交付要項				
関係補助金名称	枚方市福祉活動・福祉団体等補助金			サンセット	2023(R5)年度 ～ 2025(R7)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市福祉団体連絡会に加盟する福祉団体			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	遺族会や身体障害者の会など、当事者団体としての活動するにあたり、財源が不足している			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	当事者同士の情報交換や交流などをすることができ福祉活動が推進される				
事業概要	地域福祉活動促進を図るため、福祉団体等を支援する。 ①福祉団体助成金 ②福祉団体連絡会助成金 ③ひとり暮らし老人会運営助成金				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		当事者同士の情報交換や交流などをすることができ福祉活動が推進される。	各種福祉団体の円滑な組織運営の支援が図られる。	枚方市福祉活動・福祉団体等補助金を交付する。
指標設定	指標説明	障害者週間啓発キャンペーン 午前の部、午後の部参加人数の合計	活動支援している団体数	枚方市福祉活動・福祉団体等補助金交付額
		単位 人	単位 団体	単位 千円
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	減少することが良いとされる指標
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標 (見込み)	191 170 170 170	11 10 10 10	5,804 5,752 5,600 5,600
	実績	0 103 119 107	11 10 10 10	5,402 5,444 5,500 5,410
達成度		63%	100%	103%

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.24
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,493	3,125	1,895		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,493	3,125	1,895		
歳入	物件費計	5,444	5,500	5,410	5,446	99.3%
	歳出計	6,937	8,625	7,305		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
歳入	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	一般財源（物件費に充当されるもの）	5,444	5,500	5,410	5,446	

5. 総括的分析

総括的分析	ひとり暮らし高齢者の会や障害者(児)団体等、各種福祉団体が円滑な組織運営ができるように、事業を適正に執行した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	事業の見直しを踏まえ、福祉団体に意見聴取を行い、今後の事業にあり方について引き続き検討する。

事務事業実績測定調査

R5調書番号 310

事務事業名称	日本赤十字社事務補助事業											
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標			6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標			30.市民による活発なまちづくり活動を支援します								
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2003 (H15) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	民生委員協議会・日本赤十字社・共同募金事務補助金交付要綱				
関係補助金名称	民生委員協議会・日本赤十字社・共同募金会事務補助金		サンセット	2023 (R5) 年度	～ 2025 (R7) 年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	拠点・事務局があることによって充実した活動を行える日本赤十字奉仕団			
	サブターゲット	人間の命と健康、尊厳を守る人道の実現をめざす赤十字運動をはじめ、災害救護、救急法普及や健康生活支援などの各種事業の展開が図られることで、市民全体が地域で安心して暮らせる。			
	ターゲットが抱える課題	日本赤十字奉仕団の活動にあたり事務的な支援が必要。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	奉仕団の活動が円滑に推進され、赤十字運動が広く展開されることで、市民の福祉が向上する。				
事業概要	日本赤十字社法第7条の規定に基づく枚方市地区の赤十字活動にかかる事務を行う社会福祉協議会を支援する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		奉仕団の活動が円滑に推進され、赤十字運動が広く展開されることで、市民の福祉が向上する。				日本赤十字奉仕団の活動にあたり事務的な支援が行われる。				民生委員協議会・日本赤十字社・共同募金会事務補助金を交付する。			
指標設定	指標説明	奉仕団による延べ活動件数(地域への啓発活動、街頭募金、炊き出しなど)				部会会議開催回数及び管内研修実施回数の合計				交付金額(日本赤十字社事務補助分)			
	単位		件		単位		回		単位		千円		
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	13	13	13	13	14	14	14	14	9,533	9,533	9,533
実績		0	3	3	3	10	15	22	19	9,704	9,508	9,303	9,068
達成度		23%				136%				105%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.04
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	629	312	316		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	629	312	316		
	物件費計	9,508	9,303	9,068	9,068	100.0%
歳出計		10,137	9,615	9,384		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		9,508	9,303	9,068	9,068	

5. 総括的分析

総括的分析	アウトカムについては目標値に至らなかったが、補助金の交付により、本市における日本赤十字社の活動が円滑に行われる環境整備に寄与した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、枚方市社会福祉協議会に対する補助を通じて、社会福祉の増進を図る。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 314

事務事業名称	共同募金会事務補助事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	健康福祉部		課	健康福祉政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり							
	施策目標		30.市民による活発なまちづくり活動を支援します							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業		区分	一般事務事業	
事業期間	2003(H15)年度		年度	～			年度まで
根拠法令等	民生委員協議会・日本赤十字社・共同募金事務補助金交付要綱						
関係補助金名称	民生委員協議会・日本赤十字社・共同募金会事務補助金			サンセット	2023(R5)年度	～	2025(R7)年度
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	拠点・事務局があることによって充実した活動を行える共同募金会					
	サブターゲット	募金活動によって集められた募金が、市内のボランティア活動などの助成に充てられることで、市民が地域で安心して暮らせる。					
	ターゲットが抱える課題	共同募金会各事業の多岐にわたる職務を支援する事務局が必要					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	共同募金会の活動が円滑に推進され、募金活動によって集められた募金が、市内のボランティア活動などの助成に充てられることで、市民の福祉が向上する。						
事業概要	社会福祉法にも位置づけられる「共同募金」について、大阪府共同募金会の定款第20条の規定に基づく本市を1地区とする活動にかかる事務を行う社会福祉協議会を支援する。						

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		募金活動によって集められた募金 が、市内のボランティア活動などの 助成に充てられることで、市民の福 祉が向上する。				共同募金会の活動が円滑に推進 される。				民生委員協議会・日本赤十字社・ 共同募金会事務補助金を交付す る。			
指標 設定	指標説明	助成事業数				共同募金の総額(赤い羽根共同募 金と地域歳末たすけあい募金の合 計)				市内募金箱設置箇所数 (市所管施設、社会福祉法人、市 内企業等の合計)			
	単位		件		単位		千円		単位		件		
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標 数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	13	12	12	12	19,383	19,383	19,383	19,383	49	49	49
実績		12	11	11	14	17,409	18,203	16,943	16,298	48	53	55	54
達成度		117%				84%				110%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.04
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	393	234	316		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	393	234	316		
	物件費計	5,992	5,855	5,707	5,707	100.0%
歳出計		6,385	6,089	6,023		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		5,992	5,855	5,707	5,707	

5. 総括的分析

総括的分析	補助金の交付により、本市における共同募金会の活動が円滑に行われる環境整備に寄与した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、枚方市社会福祉協議会に対する補助を通じて、社会福祉の増進を図る。

事務事業実績測定調査

R5調書番号 320

事務事業名称	認知症総合支援事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち									
	実行計画名	9-1.認知症予防の推進と相談体制の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2000 (H12) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市家族介護教室事業実施要綱、枚方市徘徊高齢者家族支援サービス事業実施要綱、枚方市家族介護者交流事業実施要綱等				
関係補助金名称	枚方市認知症カフェ設立支援事業補助金(介護特会)		サンセット	2023 (R5) 年度	～ 2025 (R7) 年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	認知症が疑われる人または認知症の人、その家族			
	サブターゲット	地域住民、医療・介護関係機関等			
	ターゲットが抱える課題	疾患に伴う、生活上での混乱や周囲とのトラブル等の社会問題の発生し、介護者(家族)の身体的負担及び精神的な負担が増大している。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けるため、認知症の容態の変化に応じ、すべての期間を通じて、必要な医療、介護及び生活支援を行うサービスが有機的に連携したネットワークを形成し、認知症の人に対して効果的な支援が行われる体制が構築されること。				
事業概要	①介護方法や介護者の健康づくりや介護者同士の交流などに関する家族介護教室を実施 ②認知症高齢者の行方が分からなくなったときに速やかな連絡先への連絡を目的としたひらかた高齢者sosキーホルダー事業を実施。 ③認知症を正しく理解し見守る認知症サポーターを養成 ④認知症の早期対応を目的として、認知症の人や家族に対して、医療と介護の専門職によるチーム(認知症初期集中支援チーム)が個別訪問による支援を実施 ⑤認知症(疑い含む)の症状が発生した場合に、いつ、どこで、どのような医療や介護サービスを受ければよいかを記載したガイドブックの認知症ケアパスを配布 ⑥地域における認知症カフェ設置を推進するため、設立支援事業として、スタッフの研修等に係る費用を助成。継続支援として、認知症カフェ登録による周知等を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
		地域包括支援センターの総合相談を通じて各種支援を受けることができる。				介護知識や負担軽減等の相談ができる。				在宅で介護を行っている家族等に対する適切な介護知識や負担軽減等の相談を目的とする取り組み等の周知を図る。							
指標設定	指標説明	高齢者人口のうち、地域包括支援センターの総合相談利用・支援を受けた人の割合。 【算出式:総合相談対応件数(実人数)/高齢者人口×100】				地域包括支援センターの総合相談のうち介護・医療に関する相談件数				在宅で介護を行っている家族等に対する適切な介護方法や相談等の取り組みをホームページ等に掲載した件数							
	単位		%		単位		件		単位		件						
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標						
	指標数値	R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5	
		目標 (見込み)		2.90	2.90	2.90	2.90	9,200	9,300	9,400	9,500	5	5	5	5		
		実績		7	7.28	8.37	8.17	11,590	13,306	16,581	17,556	2	4	5	5		
達成度		282%				185%				100%							

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②		地域包括支援センターの総合相談を通じて各種支援を受けることができる。				徘徊高齢者の早期発見の可能性が高まる。				徘徊高齢者の早期発見を目的とする事業を実施する。			
指標設定②	指標説明	高齢者人口のうち、地域包括支援センターの総合相談利用・支援を受けた人の割合。 【算出式:総合相談対応件数(実人数)/高齢者人口×100】				ひらかた高齢者sosキーホルダーの配布数(平成27年度からの累計数)				ひらかた高齢者sosキーホルダー事業の広報掲載による周知回数			
		単位 %				単位 個				単位 回			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	2.90	2.90	2.90	2.90	4,500	5,350	6,200	7,050	1	1	1	1
	実績	7	7.28	8.37	8.17	5,351	5,936	7,024	8,671	1	1	1	1
達成度		282%				123%				100%			
ロジックモデル③		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		地域包括支援センターの総合相談を通じて各種支援を受けることができる。				認知症サポーターが養成される。				認知症の人や家族が安心して暮らし続けることができるよう、認知症を正しく理解し、支援する人を増やすことを目的とする事業を実施する。			
指標設定③	指標説明	高齢者人口のうち、地域包括支援センターの総合相談利用・支援を受けた人の割合。 【算出式:総合相談対応件数(実人数)/高齢者人口×100】				認知症サポーター養成人数(累計)				認知症サポーター養成講座の開催回数			
		単位 %				単位 人				単位 回			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	2.90	2.90	2.90	2.90	27,300	26,500	28,000	29,500	35	35	35	35
	実績	7	7.28	8.37	8.17	24,615	25,491	26,441	28,729	18	30	44	69
達成度		282%				97%				197%			
ロジックモデル④		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		地域包括支援センターの総合相談を通じて各種支援を受けることができる。				認知症カフェ運営団体が増える。				認知症カフェの設立及び運営を支援する。			
指標設定④	指標説明	高齢者人口のうち、地域包括支援センターの総合相談利用・支援を受けた人の割合。 【算出式:総合相談対応件数(実人数)/高齢者人口×100】				認知症カフェ登録団体数(当該年度末登録数)				枚方市認知症カフェ設立支援事業補助金交付件数			
		単位 %				単位 件				単位 件			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	2.90	2.90	2.90	2.90	15	15	15	15	1	1	1	1
	実績	7	7.28	8.37	8.17	13	14	15	18	0	0	1	1
達成度		282%				120%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.07
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	7,621	8,359	8,448		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	7,621	8,359	8,448		
	物件費計	7,488	8,648	9,663	18,500	52.2%
歳出計		15,109	17,007	18,111		
歳入	国庫支出金	3,159	4,269	4,749	5,280	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	1,580	2,135	2,375	2,640	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	1,316	594	697	704	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	6,055	6,998	7,821	8,624	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		1,433	1,650	1,842	9,876	

5. 総括的分析

総括的分析	認知症カフェで、3件の新規登録があった。認知症サポーター養成講座を継続して実施し、講座の際にはケアパスを配付している。また、高齢者SOSキーホルダーの周知と配付を引き続き行った。その他、令和5年度においては地域包括支援センターや医療機関と協働し認知症初期集中支援チームにかかる啓発動画を作成した。各指標における活動結果が増加傾向にあることから、本事業について一定の効果があると考えられる。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き様々な手段を活用し認知症について周知啓発を行う。

事務事業実績測定調査

R5調書番号 571

事務事業名称	公的介護施設等整備補助事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2013(H25)年度	年度	～	年度まで	
根拠法令等	枚方市公的介護施設等整備補助金交付要綱				
関係補助金名称	公的介護施設等整備補助金		サンセット	2023(R5)年度	～ 2025(R7)年度
関係附属機関名称	枚方市介護保険施設等整備審議会				
事業対象	メインターゲット	公的介護施設等の整備事業者			
	サブターゲット	介護保険施設等の入所・利用者			
	ターゲットが抱える課題	施設整備費用が負担となり、施設入所・利用を希望する高齢者のニーズに応えることができない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	ひらかた高齢者保健福祉計画21に基づく施設整備を促進することで、高齢者が安全・安心に、必要な施設サービスを受けることができる。				
事業概要	ひらかた高齢者保健福祉計画21に基づく整備を行う事業者に対し、補助金を交付することにより、高齢者の安全・安心な生活を確保するための公的介護施設等の基盤整備を行うもの。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		公的介護施設等を利用する高齢者が、安全・安心に、必要な施設サービスを受けることができる。				公的介護施設等の整備が促進される。(介護施設の基盤整備)				公的介護施設等の整備事業者に対し、公的介護施設の基盤整備を行うための補助金を交付する。(介護施設の基盤整備)				
指標設定	指標説明	当該整備を行った施設の利用率 【算出式:当該整備を行った施設の利用者数/当該整備を行った施設の利用定員増加数×100】				公的介護施設等整備補助金の交付により整備を行った施設の利用定員増加数 (ただし、令和3年度から第8期計画で新たに設定)				ひらかた高齢者保健福祉計画21に基づく公的介護施設等整備補助金の交付事業者数 (ただし、令和3年度から第8期計画で新たに設定)				
	単位		%		単位		人		単位		事業者			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	100	100	100	100	192	0	141	108	11	0	8	3
		実績	7	0	0	10	136	0	0	115	7	0	0	5
達成度		10%				106%				167%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.80
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	8.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,500	6,250	6,316		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	152	152	143		
	人件費計	5,652	6,402	6,459		
歳入	物件費計	60,278	46,300	382,363	466,021	82.0%
	歳出計	65,930	52,702	388,822		
	国庫支出金	7,234	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	35,701	46,295	381,791	465,448	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	1,300	0	0	0	
	その他	279	5	572	572	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	44,514	46,300	382,363	466,020	
一般財源（物件費に充当されるもの）		15,764	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	ひらかた高齢者保健福祉計画(第8期)に基づき、令和3年度及び令和4年度に公募選定を行った地域密着型特別養護老人ホーム等の整備を行う事業者に対し、補助金を交付した。第8期計画期間である令和3年度から5年度の3か年において、応募がなかった等により、未選定となっているサービスもあり、3年間トータルでの目標は下回ることとなった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	ひらかた高齢者保健福祉計画21(第9期)に基づき、地域密着型サービス等の整備を行う事業者を公募し、介護施設等の基盤整備を進める。第9期計画で整備を見込んでいる介護医療院について、新たに補助対象とするため、要綱改正を行う予定である。

事務事業実績測定調査

R5調書番号 572

事務事業名称	シルバー人材センター事業費補助事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち								
	実行計画名	9-2.高齢者の生きがいづくりと外出支援								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1980(S55)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市補助金等交付規則				
関係補助金名称	高年齢者能力活用推進事業補助金			サンセット	2022(R4)年度 ～ 2024(R6)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市シルバー人材センター			
	サブターゲット	枚方市シルバー人材センターの会員			
	ターゲットが抱える課題	シルバー人材センター登録会員の確保、会員の就業率の向上が必要である。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	就業の場を通じて、高齢者の生きがいづくりと社会参加が促進される。				
事業概要	枚方市補助金等交付規則に基づき補助金を交付する。 センターの設置目的である高齢者が働くことを通じた生きがいづくり、さらなる地域社会の活性化への貢献につなげていくことを効果的に支援していくため、シルバー人材センターの自主事業に対する経費の一部を補助する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		高齢者の生きがいづくりや社会参加が促進する。				枚方市シルバー人材センターの取り組みが充実する。				枚方市シルバー人材センターの取り組みを支援するため、補助金を交付する。				
指標設定	指標説明	枚方市シルバー人材センターの各年度末登録会員数				会員の就業率 【算出式: 就業会員数／会員数×100】				補助金交付対象事業数				
	単位		人		単位		%		単位		事業			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	2,300	2,350	2,400	2,450	69.50	70	70	70	2	2	2	2
		実績	1,954	1,887	1,806	1,824	76.90	75.94	76.19	72.20	2	1	2	2
達成度		74%				103%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.30
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,357	2,344	2,369		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,357	2,344	2,369		
歳入	物件費計	2,503	3,309	4,017	4,017	100.0%
	歳出計	4,860	5,653	6,386		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		2,503	3,309	4,017	4,017	

5. 総括的分析

総括的分析	「補助金の見直しに関する方針」に基づく団体運営補助の廃止により、令和元年度から事業費補助となった。高齢者の知識や技能を活かした事業を通して、センターの設置目的である高齢者が働くことを通じた生きがいづくり、さらなる地域社会の活性化への貢献につなげていくことを効果的に支援する。令和5年度は、「遊休地活用事業」「幅広い世代の居場所づくり事業」の軽費の一部を補助した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き補助事業の進捗管理を行うとともに、適宜効果検証を行っていく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 573

事務事業名称	老人クラブ育成補助事業											
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち										
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち										
	実行計画名	9-2.高齢者の生きがいづくりと外出支援										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択の事業	区分	一般事務事業
事業期間	1963(S38)年度	年度	～	年度まで	
根拠法令等	枚方市老人クラブ等活動事業等補助金交付要綱				
関係補助金名称	老人クラブ活動補助金、老人クラブ連合会事務費補助金		サンセット	2023(R5)年度	～ 2025(R7)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	各単位老人クラブ、老人クラブ連合会、ひとり暮らし老人会			
	サブターゲット	各単位老人クラブ、老人クラブ連合会、ひとり暮らし老人会に加入している高齢者			
	ターゲットが抱える課題	老人クラブ会員数が減少している。住み慣れた地域でいきいきと暮らし、人とのつながりをもつことができる場の確保が必要。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	より多くの高齢者が老人クラブ等の社会奉仕や健康増進等の諸活動に参加することで、住み慣れた地域で健全で豊かな生活を送ることができている。				
事業概要	各単位老人クラブ、老人クラブ連合会、ひとり暮らし老人会連絡会からの活動補助金申請等、老人クラブ連合会事務経費補助金申請等を受け、活動予定月数、会員数等に応じた補助金を交付し、年度末に各実績報告を受け、精算等を行う。また、国に対し補助金申請を行い補助金交付を受ける。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム （活動効果）				アウトプット （活動結果）				インプット （活動）			
		多くの高齢者が、住み慣れた地域で健全で豊かな生活を送ることができる。				老人クラブ、老人クラブ連合会、ひとり暮らし老人会連絡会が、社会奉仕や健康増進等の諸活動を実施する。				老人クラブ、老人クラブ連合会、ひとり暮らし老人会連絡会の取り組みを支援するため、補助金を交付する。			
指標設定	指標説明	補助金交付申請時の老人クラブ会員数				老人クラブ等が行った社会奉仕や健康増進等の活動月数				補助金の交付件数			
	単位		人		単位		月		単位		件		
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 （見込み）	12,621	12,621	12,621	12,621	2,604	2,604	2,604	2,604	217	217	217
	実績	11,670	10,758	9,502	8,901	2,554	2,340	2,180	1,992	213	196	183	166
達成度		71%				76%				76%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.19
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.16
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,357	2,344	1,500		
	会計年度任用職員	0	0	467		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,357	2,344	1,967		
歳入	物件費計	20,475	18,805	18,420	22,011	83.7%
	歳出計	22,832	21,149	20,387		
	国庫支出金	6,525	5,888	5,801	6,656	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	6,525	5,888	5,801	6,656	
一般財源（物件費に充当されるもの）		13,950	12,917	12,619	15,355	

5. 総括的分析

総括的分析	高齢者人口の増加に対比すると会員数は減少していることから、引き続き取り組みを続けていく必要がある。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、老人クラブ、老人クラブ連合会、ひとり暮らし老人会連絡会の取り組みを支援するため、補助金を交付する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 589

事務事業名称	ちびっこ広場管理事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	健康福祉部		課	健康福祉政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標	24.まちなかのみどりを育てるまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市ちびっこ広場設置及び管理要綱				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	ちびっこ広場と小規模公園を利用する幼児・児童や地域住民			
	サブターゲット	ちびっこ広場の土地所有者(市との賃貸借契約により、固定資産税が免除されているため) 集会所付き小規模公園を利用する自治会(小規模公園内に行政財産の目的外使用として自治会館を設置しているため)			
	ターゲットが抱える課題	広場を利用しており、広場に対する要望があるが、どこに相談していいかわからない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	底地管理している民地のちびっこ広場と集会所付き小規模公園を適正に管理し、幼児・児童の安全で楽しい遊び場の提供と、地域住民交流の支援を図る。				
事業概要	「ちびっこ広場(民地のみ)」と「集会所付小規模公園」について、地元住民や自治会等との調整を図りながら、要望等に基づく固定資産税非課税手続き、行政財産の目的外使用許可、安全確保のためのフェンスの改修等を行うもの。 なお、遊具等の維持管理については公園所管部署が行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						申請に対して許可を行う。				民地の土地所有者と使用賃貸借契約を結んでいるちびっこ広場の契約継続および固定資産税非課税措置のための申請と、集会所付き小規模公園の行政財産目的外使用許可申請を受け付ける。				
指標設定	指標説明					固定資産税非課税対象数と行政財産目的外使用許可件数の合計				ちびっこ広場の固定資産税非課税措置のための申請数と、集会所付き小規模公園の行政財産目的外使用許可申請数の合計				
						単位 件				単位 件				
	指標種類					減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)					22	22	22	22	22	22	22	22
		実績					22	22	22	22	22	22	22	22
達成度						100%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.28
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	471	312	2,211		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	471	312	2,211		
	物件費計	0	0	3,198	5,000	64.0%
歳出計		471	312	5,409		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	3,198	5,000	

5. 総括的分析

総括的分析	ちびっこ広場や集会所付き小規模公園について、固定資産税非課税措置のための申請および行政財産目的外使用許可の申請を受け付け適切に管理した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、適正管理に努める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 702

事務事業名称	社会福祉審議会(本審)運営事務									
測定年度	2023(R5)年度		部	健康福祉部			課	健康福祉政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標	29.市民との情報の共有化を進めます								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	2014(H26)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市社会福祉審議会条例、枚方市社会福祉審議会規則				
関係補助金名称		サンセット		～	
関係附属機関名称	社会福祉審議会(本審)				
事業対象	メインターゲット	審議会の開催により、社会福祉が推進され、福祉が向上する市民			
	サブターゲット	【審議会委員への報酬支払い事務】【審議会員への源泉徴収票作成事務】【審議会委員の委嘱事務】…課職員			
	ターゲットが抱える課題	円滑に事務を進める必要がある			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	円滑に事務を進められる				
事業概要	・学識経験者、社会福祉や児童福祉の専門家、市民団体からの推薦者等で構成される「枚方市社会福祉審議会」を開催する。・審議会の委員の定数は19人以内で、任期は3年。(委員を増員する場合その他特別の事情がある場合にあっては、3年以内)なお、各施福祉分野について、専門的に調査審議するための専門分科会及び部会を設置。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類												
	指標数値	目標 (見込み)											
		実績											
	達成度												

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.47
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	70.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,100	3,672	3,711		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	1,729	1,777	2,537		
	人件費計	2,829	5,449	6,247		
	物件費計	0	12	0	0	
歳出計		2,829	5,461	6,247		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	12	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	本審及び各分科会の開催により、社会福祉や児童福祉に関する事項の調査審議を行い、令和6年度を始期とする、「ひらかた高齢者保健福祉計画21(第9期)」、「枚方市障害者計画(第4次改訂版)」、「枚方市障害福祉計画(第7期)」及び「枚方市障害児福祉計画(第3期)」を策定した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も継続して、担当課において各種調査審議及び事業の進捗管理を適切に行うため、本審及び各分科会を開催する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 703

事務事業名称	地域福祉計画推進事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標	29.市民との情報の共有化を進めます								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2014 (H26) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市社会福祉審議会条例、枚方市社会福祉審議会規則				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	計画の推進や、審議会の開催により、市民、事業者など、地域福祉に関係する方にとって、地域福祉が向上することとなる。			
	サブターゲット	計画の進行管理の一環として行う「地域福祉セミナー」の参加者である、主に地域で福祉活動を行う住民や関係者など			
	ターゲットが抱える課題	だれもが住みなれた地域で安心して暮らしていける地域共生社会の体制整備が不十分			
	ターゲットが抱える課題	地域福祉活動に関する情報提供や共有の場がほしい			
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	課題を計画的・総合的に解決していくため地域福祉計画を策定し、計画に基づき施策等を進めていき、地域福祉が推進される 住民の間で情報が共有され、地域福祉活動がいつそう盛んになる				
事業概要	学識経験者、地域福祉の専門家、市民団体からの推薦者等で構成される「枚方市社会福祉審議会地域福祉専門分科会」を開催する。分科会では主に社会福祉法第107条に基づく市町村地域福祉計画の策定や進行管理等を審議する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						地域福祉が推進される。				地域福祉計画に基づき施策等を実施する。			
指標設定	指標説明					地域福祉計画冊子配布数				審議会開催回数			
							単位	冊			単位	回	
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					400	100	50	50	1	1	1	1
	実績					300	0	0	0	0	1	1	2
達成度						0%				200%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.70
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.04
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	2,043	3,281	5,527		
	会計年度任用職員	0	0	84		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,043	3,281	5,611		
	物件費計	33	30	1,251	1,517	82.5%
	歳出計	2,076	3,311	6,862		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		33	30	1,251	1,517	

5. 総括的分析

総括的分析	令和5年度は関係部課庁内会議及び地域福祉専門分科会を開催し、計画の進捗管理及び次期計画策定に向けた審議を行った。また、次期計画の基礎資料とするため令和6年1月に市民意識調査を行った。「地域福祉セミナー」について、広く市民に知ってもらえるように、広報ひらかたや市のホームページ、SNS等で周知した。参加者のアンケート結果では75%の方から「とてもよくわかりやすかった」「わかりやすかった」との意見をいただいた。講演テーマ：災害時における身近な備え～わたしたちでできること、地域でできること～
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	令和6年度策定の「枚方市地域福祉計画（第5期）」に向けて、関係部課庁内会議及び地域福祉専門分科会、市民意見聴取を行う。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 722

事務事業名称	民生委員・児童委員大会開催事務												
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5			
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり										
	施策目標		30.市民による活発なまちづくり活動を支援します										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2014(H26)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	本市の民生委員・児童委員、主任児童委員(民生委員は原則75歳未満、主任児童委員は原則55歳未満)			
	サブターゲット	民生委員の資質や意欲が向上することで、市民にとっても地域の福祉が向上する。			
	ターゲットが抱える課題	長期間の活動の中で、活動に対する意欲継続。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	日ごろの活動に対し、勤続表彰等を受けることで活動の意欲を高められる。				
事業概要	枚方市と枚方市民生委員児童委員協議会との共催により「枚方市民生委員・児童委員大会」を開催する。第1部の表彰式では厚生労働大臣特別表彰の伝達、社会福祉功労者厚生労働大臣表彰の伝達及び民生委員・児童委員としての勤続年数が10年、15年、20年、25年勤続者に対する市長表彰を、第2部では民生委員・児童委員の研修を行い、民生委員・児童委員の資質及び意欲の向上を図る。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		枚方市民生委員・児童委員が日ごろの活動に対し、勤続表彰等を受けることで活動の意欲が高まる。				枚方市民生委員・児童委員が大会に参加する。				「枚方市民生委員・児童委員大会」を開催する。			
指標設定	指標説明	表彰の基準となる任期10年以上の民生委員・児童委員の割合(表彰日時点)				参加人数				開催回数			
	単位		%		単位		人		単位		回		
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	19.80	19.80	19.80	19.80	441	441	441	441	1	1	1
	実績	19.87	27.41	28.19	21.87	67	48	405	376	1	1	1	1
達成度		110%				85%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.32
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.04
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,257	2,890	2,526		
	会計年度任用職員	0	0	84		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,257	2,890	2,610		
	物件費計	230	394	442	538	82.2%
歳出計		1,487	3,284	3,052		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		230	394	442	538	

5. 総括的分析

総括的分析	アウトカム及びアウトプットどちらも昨年度に比較し微少した。
-------	-------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	民生委員・児童委員活動の強化推進に資するため、引き続き、同大会の開催を通じて民生委員・児童委員の資質及び意欲の向上を図る。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 723

事務事業名称	民生委員研修事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり							
	施策目標		30.市民による活発なまちづくり活動を支援します							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1974(S49)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	本市の民生委員・児童委員、主任児童委員(民生委員は原則75歳未満、主任児童委員は原則55歳未満)			
	サブターゲット	民生委員の資質や意欲が向上することで、市民にとっても地域の福祉が向上する。			
	ターゲットが抱える課題	福祉制度に関する知識や技術などを習得する場が少ない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	民生委員としての知識や技術などを習得することで、資質が向上する。				
事業概要	枚方市民生委員児童委員協議会に委託し、民生委員・児童委員及び主任児童委員に対して、福祉施設の視察や福祉制度についての勉強会など各種研修を実施する。中核市移行に伴い、大阪府から権限の委譲を受け、民生委員法第18条に基づき、民生委員・児童委員及び主任児童委員に対して、社会福祉法人大阪府社会福祉協議会が実施する指導訓練に係る研修を実施している。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		民生委員としての知識や技術などを習得し、資質が向上する。				民生委員・児童委員及び主任児童委員が研修に参加する。				民生委員・児童委員及び主任児童委員の研修の機会を設ける。				
指標設定	指標説明	研修参加者における、研修に対する満足度 【算出式:研修後、アンケートを実施し、参加者のうち、「満足」「やや満足」と回答した割合】				のべ研修参加人数				民生委員・児童委員及び主任児童委員の研修の実施回数				
		単位		%		単位		人		単位		回		
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	80	80	80	80	3,000	3,000	3,000	3,000	120	120	120	120
		実績	94.87	100	97.56	100	1,393	1,439	2,733	3,130	48	56	89	115
	達成度	125%				104%				96%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.11
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	550	937	868		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	550	937	868		
歳入	物件費計	585	3,399	3,773	4,433	85.1%
	歳出計	1,135	4,336	4,641		
	国庫支出金	424	424	436	423	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	424	424	436	423	
一般財源（物件費に充当されるもの）		161	2,975	3,337	4,010	

5. 総括的分析

総括的分析	インプットについては目標値に至らなかったが、新型コロナウイルスが5類に移行したことに伴い、前年度と比較して全体的に増加した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	民生委員活動及び主任児童委員活動に必要とされる事項について、継続して研修を実施し民生委員・児童委員の資質の向上を図る。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 725

事務事業名称	民生委員推薦事務									
測定年度	2023(R5)年度		部	健康福祉部		課	健康福祉政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標	30.市民による活発なまちづくり活動を支援します								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性	非選択的事業		区分	非選択の事務事業	
事業期間	不明			年度	～	年度まで		
根拠法令等	民生委員法							
関係補助金名称					サンセット		～	
関係附属機関名称	社会福祉審議会民生委員審査専門分科会							
事業対象	メインターゲット	民生委員になりうる市民(民生委員は原則75歳未満、主任児童委員は原則55歳未満)						
	サブターゲット	各校区に民生委員が配置されることにより、安心して生活することができる市民 民生委員を推薦する、各校区の校区コミュニティ協議会や自治会						
	ターゲットが抱える課題	民生委員のなり手が不足している。候補者を探すのに苦慮している。						
	ターゲットが抱える課題							
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	全校区に定数通りの民生委員・児童委員が配置されている。							
事業概要	枚方市民生委員・児童委員定数条例に規定する定数に沿って、全民生委員・児童委員の任期が満了となる一斉改選(3年に一度)時には年2回、その他の年については欠員補充に伴い年3回、枚方市民生委員推薦会を開催して、民生委員・児童委員の候補者を厚生労働大臣に推薦する。平成26年4月からの中核市移行に伴って大阪府から権限が委譲された事務で、大阪府が一部負担していた民生委員活動費負担金も、中核市移行後は市が全額負担している(地方交付税措置あり)。							

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						地域より推薦のあった民生委員・児童委員の候補者について適否を審議し、適任であると判断した候補者を厚生労働大臣に推薦し、民生委員の充足に努める。				改選等の時期に枚方市民生委員推薦会を開催する。			
指標設定	指標説明					民生委員の充足率(翌年度4月1日時点) 【算出式:委嘱者数／定数×100】				枚方市民生委員推薦会開催数			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標						
	指標数値	目標 (見込み)				R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績				87.71	89.91	86.42	85.87	3	3	2	3
		達成度				93%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.52
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	9.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,343	5,781	4,105		
	会計年度任用職員	0	82	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	200	143	219		
	人件費計	5,543	6,006	4,324		
	物件費計	37,069	40,180	35,950	39,246	91.6%
歳出計		42,612	46,186	40,274		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		37,069	40,180	35,950	39,246	

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度についてはおおむね想定通りであったが、昨年度より民生委員・児童委員の充足率は低下しているため、今後更なる充足率の増加に向けた取り組みを検討する必要がある。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、民生委員・児童委員のなり手不足解消に向けて、民生委員を推薦する各校区の校区コミュニティ協議会や自治会への民生委員制度の説明を随時行うほか、必要に応じて候補者への説明の同行等を行う。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 730

事務事業名称	ひらかたポイント事業												
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課				
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3			R4		R5		
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり										
	施策目標		30.市民による活発なまちづくり活動を支援します										
	実行計画名		計画推進2-1.市民活動の支援										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业		区分	一般事務事業	
事業期間	2018(H30)年度		年度	～	年度まで		
根拠法令等	決裁						
関係補助金名称				サンセット		～	
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	健康・子育て・長寿など市が重点的に進める施策の対象者					
	サブターゲット	社会貢献活動に取り組む市内企業・各種公益活動団体等(市内協力店を含む)					
	ターゲットが抱える課題	健康増進や社会貢献活動等に対して無関心または一定の関心はあるが、契機がなく積極的な行動に至れていない。					
	ターゲットが抱える課題	社会貢献活動に取り組む市内企業・各種公益活動団体等が、周知やポイントのシステムを独自に構築するのは難しい。					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	ひらかたポイントシステム(情報発信、ポイント付与・使用・受取)の活用により、ターゲットが健康分野などの市事業等に興味を持ち積極的に行動している状況を形成し、ひいてはターゲットの健康増進や社会貢献活動等の推進に寄与している状態。						
事業概要	平成30年度から委託により事業を開始し、健康・子育て・高齢者・アンケート・ボランティア等の分野に関する市事業等に参画した市民に対してポイントを付与し、市内協力店でそのポイントを利用(貯める・使う)できる制度を構築し運用してきた(平成31年1月15日運用開始)。令和2年度にカード作成やカード読取端末のコスト負担が大きい非接触型ICカードを用いたシステムを改修し、令和3年4月からはQRコードを用いたスマホアプリとカードで運用している。また、健康分野を拡充し、市民の健康づくりに関する取り組みを「後押し」する一助として実施している。						

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		ターゲットが市事業等に積極的に参画する中で、ひらかたポイントシステム(情報発信、ポイント付与・使用・受取)が利便性・多様性を備え、有益に活用されている。				ひらかたポイント制度の利用者が増える				ひらかたポイント協力店が増える				
指標設定	指標説明		ポイント利用率【算出式:累計利用ポイント／累計発行ポイント×100】				ひらかたポイント制度の利用者登録数				ひらかたポイント協力店数			
			単位		%		単位		人		単位		店舗	
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	35	50	50	50	－	－	65,000	70,000	－	－	500	550
		実績	11.81	18.23	27.68	39.70	－	－	65,656	72,649	－	－	500	545
達成度		79%				104%				99%				

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		ターゲットが市事業等に積極的に参画する中で、ひらかたポイントシステム(情報発信、ポイント付与・使用・受取)が利便性・多様性を備え、有益に活用されている。				ひらかたポイント制度の利用者が増える				ひらかたポイントシステムを活用する企業・公益活動団体等が増える			
指標設定②	指標説明	ポイント利用率【算出式:累計利用ポイント／累計発行ポイント×100】				ひらかたポイント制度の利用者登録数				ひらかたポイントシステムを活用する企業・公益活動団体等の数			
				単位	%			単位	人			単位	団体
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	35	50	50	50	-	-	65,000	70,000	-	-	25	30
	実績	11.81	18.23	27.68	39.70	-	-	65,656	72,649	-	-	22	32
達成度		79%				104%				107%			
ロジックモデル③		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		ターゲットが市事業等に積極的に参画する中で、ひらかたポイントシステム(情報発信、ポイント付与・使用・受取)が利便性・多様性を備え、有益に活用されている。				付与事業への参加により、ひらかたポイントカード及びアプリの利用者が増える。				ひらかたポイントを付与する対象事業の拡充を進める。			
指標設定③	指標説明	ポイント利用率【算出式:累計利用ポイント／累計発行ポイント×100】				ひらかたポイントカード発行枚数 (アプリダウンロード件数を含む)				ポイント付与事業数			
				単位	%			単位	枚			単位	事業
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	35	50	50	50	150,000	200,000	-	-	20	25	-	-
	実績	11.81	18.23	27.68	39.70	110,971	117,385	-	-	19	33	-	-
達成度		79%				-				-			
ロジックモデル④		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		ターゲットが市事業等に積極的に参画する中で、ひらかたポイントシステム(情報発信、ポイント付与・使用・受取)が利便性・多様性を備え、有益に活用されている。				ひらかたポイント協力店舗数				協力店舗登録への説明を行った店舗数(広報誌、WEB等での広報活動を除く)			
指標設定④	指標説明	ポイント利用率【算出式:累計利用ポイント／累計発行ポイント×100】				ひらかたポイント協力店舗数				協力店舗登録への説明を行った店舗数(広報誌、WEB等での広報活動を除く)			
				単位	%			単位	店舗			単位	店舗
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	35	50	50	50	300	400	-	-	500	500	-	-
	実績	11.81	18.23	27.68	39.70	320	454	-	-	982	1,659	-	-
達成度		79%				-				-			

ロジックモデル⑤		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		ポイント付与が検診受診等の健康増進等の行動促進の後押しとして寄与し、ひらかたポイント制度利用者が健康増進等の活動に取り組んでいる。				ポイント付与により、ひらかたポイント制度利用者の検診受診等の健康増進等の行動促進を後押しする。				ひらかたポイント制度利用者の検診受診等の健康増進等の行動促進を後押しするポイント付与事業を実施・充実する。				
指標設定 ⑤	指標説明	健康行動取組者増加率 【算出式:{(当該年度における健康増進に係る主な付与事業(1事業以上)参加者へのポイント付与人数/前年度における健康増進に係る主な付与事業(1事業以上)参加者へのポイント付与人数)-1}×100】				健康増進に係る主な付与事業(1事業以上)参加者へのポイント付与人数				健康増進に係る主なポイント付与事業数				
	単位		%		単位		人		単位		事業			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	—	—	25	20	—	—	25,000	30,000	—	—	44	48
		実績	—	—	21.55	33.26	—	—	25,092	33,438	—	—	46	55
達成度		166%				111%				115%				

3. 人員体制
(人)

	R5実績
正職員	1.40
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.46
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	10,764	8,984	11,053		
	会計年度任用職員	1,005	930	1,056		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	11,769	9,914	12,109		
歳入	物件費計	27,475	36,906	40,763	40,218	101.4%
	歳出計	39,244	46,820	52,872		
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	0		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計(物件費に充当されるもの)	0	0	0	0	
一般財源(物件費に充当されるもの)		27,475	36,906	40,763	40,218	

5. 総括的分析

総括的分析	令和3年4月よりアプリとカードで運用している。ポイント利用率は目標を下回っているが改善している。健康行動取組者増加率は大幅に目標を達成したが、令和5年度は、後期高齢者医療健康診査および歯科健康診査が新たにポイント付与対象事業となったことが健康行動取組者の増加に寄与している。また、市民の健康づくりに関する取り組みを「後押し」する一助として、令和6年度以降も利便性の向上などを踏まえた事業継続等について検討を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	ウォーキングやスポーツ活動などを通した市民の健康づくりに向けて、幅広い世代がひらかたポイントを活用できる取り組みの推進を図るとともに、令和5年度に歩数連携機能を追加しより利便性を高めたひらポアプリについて、各種イベントへのブース出展や出前講座の開催などの周知活動により更なる導入及び利用促進を図る。公益活動団体等が取り組む健康への活動支援や健康経営を推進する企業等を後押しできるようひらかたポイントの活用を促す。また、事業評価を行い、令和6年度以降について検討を行う。

事務事業実績測定調査

R5調書番号 865

事務事業名称	健康福祉政策課運営事務									
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外							
	施策目標		99.施策体系外							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	課職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	課の運営を円滑に行う。				
事業概要	市議会対応、部の予算・決算処理、事務事業・公約施策等の取りまとめなど健康、長寿、医療及び福祉に係る施策全般の調整、社会福祉審議会の運営に関する委員委嘱・報酬支払い、寄付金の受付、健康福祉部及び健康福祉政策課の照会回答取りまとめ、庶務事務など。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類												
	指標数値	目標 (見込み)											
		実績											
	達成度												

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	4.43
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.30
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	18,464	17,733	34,975		
	会計年度任用職員	453	370	746		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	18,917	18,103	35,721		
	物件費計	24,758	275,194	1,626,768	2,028,216	80.2%
歳出計		43,675	293,297	1,662,489		
歳入	国庫支出金	0	202,136	139,438	155,759	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	219,492	589,528	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	18,071	27,061	1,010,782	1,025,379	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	18,071	229,197	1,369,712	1,770,666	
一般財源（物件費に充当されるもの）		6,687	45,997	257,056	257,550	

5. 総括的分析

総括的分析	庁内外との連絡調整、運営・庶務事務について、適正に執行した。 また、電力・ガス・食料品等価格高騰等への対応として、医療機関及び薬局への支援金給付を行った。 その他、新型コロナウイルス感染症に関して、介護サービス事業所等に対するサービス提供体制確保事業補助金の給付等を実施した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	継続して円滑に運営事務及び庶務事務を執行していく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 964

事務事業名称	介護職の魅力発信事業(介護人材確保推進事業)									
測定年度	2023(R5)年度		部	健康福祉部		課	健康福祉政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	○	R5
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち								
	実行計画名	9-3.介護事業の充実								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業	
事業期間	R5年度(2023年度)		年度	～	R7年度(2025年度)	年度まで
根拠法令等						
関係補助金名称	大阪府市町村等介護人材確保推進事業補助金			サンセット		～
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	市内小学生				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	子ども世代が介護職について理解を深める機会にはほぼなく、また、核家族化等により高齢者とふれあう機会も減少してしまっている。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	未来を担う子ども世代が介護や介助職種への興味や関心、知識をもち、ひいては介護業務の魅力を理解し、「将来になりたい職業」の一つとして認識している状態					
事業概要	慢性的な人手不足に陥っている介護人材の確保のため、子ども世代が介護職について理解を深めるきっかけを作ることを目的に、駅近くに市立のデイサービスセンターが入った福祉会館がある枚方市ならではの強みを生かし、ラポールひらかたを介護職の魅力発信拠点ととらえ、デイサービスセンター指定管理者とも連携し、子ども世代の職業体験などを行う。					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム （活動効果）				アウトプット （活動結果）				インプット （活動）				
		子どもたちが介護職についての理解を深め、高齢者にふれあう機会を得る。				子どもたちが介護職についての理解を深め、高齢者にふれあう機会を得る。				子ども向け介護職体験を実施する。				
指標設定	指標説明	参加者のうち介護職に魅力を感じた人数の割合 介護職に魅力を感じた人数／参加者数				事業参加者数				事業実施回数				
	単位		%		単位		人		単位		回			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 （見込み）	－	－	－	70	－	－	－	75	－	－	－	3
		実績	－	－	－	60	－	－	－	79	－	－	－	3
達成度		86%				105%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.30
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	0	0	2,369		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	0	2,369		
	物件費計	0	0	1,473	2,500	58.9%
歳出計		0	0	3,842		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	736	750	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	737	1,750	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	1,473	2,500	
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。

5. 総括的分析

総括的分析	介護の仕事に触れ、高齢者の介助などへ理解を深める場として、3回の職業体験を実施。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、職業体験を6回程度実施していくよう取り組む。